

熊本県版 がん情報冊子

2026



©2010熊本県くまモン

熊本県版がん情報冊子のご利用にあたって

この冊子の情報は、がんの治療を受けられる患者さんやご家族の療養上のこと、生活の支援に関する熊本県の情報についてご紹介しています。

本冊子の詳細な情報はお近くのがん相談支援センターにお尋ねください。

注) 本冊子に掲載されている情報の中には、災害および新型コロナウイルス感染症などの影響により、窓口や開催状況などが変更になっている場合もございます。

発刊のごあいさつ

熊本県が組織する『熊本県がん診療連携協議会幹事会』の6つ目の部会として、2009（平成21）年に『相談支援・情報連携部会（以下、部会）』が設置されました。この部会は、熊本県でがんを患う方々とそのご家族が気軽に相談できる環境づくりと、がんに関する正しい情報を広く社会に届ける仕組みの整備を主な目的として活動しています。

2016（平成28）年12月に『がん対策基本法』が改正され、がん患者が尊厳を保持しつつ安心して暮らすことのできる社会の構築を目指すことが、この法律の基本理念として追加されました。つまり、どこに住んでいても、科学的に正しい医療を等しく受けられるようにするとともに、がんの患者さんが自分らしく、尊厳をもって社会生活を送れるよう、生活面・精神面・社会面での支援も充実させることとなりました。現在は、2023（令和5）年から2028（令和10）年までの『第4期がん対策推進基本計画』のもと、国と地方が一体となってさまざまな取り組みを進めています。

今、「がんとともに生きる」人が増えています。

1981（昭和56）年以降、がん（悪性新生物）は日本人の死因の第1位となり、現在もその順位は変わっていません。がんと診断される日本人の数（罹患数）は、2012（平成24）年の約85万人から増加を続け、2021（令和3）年には約98.9万人、最新の「2023年全国がん登録」では約99.3万人と、約100万人という高い水準で推移しています。今後、日本の高齢化がさらに進むにつれ、この数字はいっそう増えていくと予測されています。

今や「2人に1人がかかる病気」となったがんですが、がん検診の普及・推進、予防教育の広がり、そして診断・治療の目覚ましい進歩により、亡くなる患者さんの数は約38万人にとどまっています。全国のがん診療連携拠点病院などの最新データでは、全がんの5年生存率は約69%、10年生存率は約59%と報告されています（全国がんセンター協議会・国立がん研究センター報告）。つまり、3人に2人の患者さんががんを乗り越え、働きながら、あるいは自宅で療養しながら日常生活を送ってられます。

一方、毎年およそ2千人の子どもと約2万人の15～39歳の思春期・若年成人（AYA：Adolescent and Young Adult）世代が新たにがんと診断されています。これまで十分な支援が届きにくかったこの世代では、学業・進学・就職・結婚・妊娠といった人生の大切な節目と、治療や療養を両立できるよう、診断時から治療後まで途切れのない生活支援がとても重要です。また、若い年齢でのがん発症には、遺伝的な体質（遺伝性腫瘍症候群）が関わっている場合もあるため、家族のがん歴や発症年齢に注意し、必要に応じて遺伝カウンセリングや遺伝子検査の活用を検討することも大切です。

熊本県では、1年間に約1万5千6百人（2023年熊本県がん登録・第22報）もの方が新たにがんと診断されています。がんと正面から向き合って生活されている方が多くいらっしゃる一方で、患者さんやご家族から「困っていても、どこに相談すればよいかわからない」「相談できる場所があることを知らなかった」というお声をお聞きすることも少なくありません。

そこで本部会では、患者さん・ご家族・支援者の立場に寄り添い、がんを正しく理解し、希望をもって治療に向き合っていただけるよう、療養に役立つさまざまな情報をまとめた『熊本県版がん情報冊子』を作成しました。2016（平成28）年1月の初版発刊以来、各項目の内容を充実させるとともに、熊本県の支援制度、最新のがんゲノム医療情報、人生の最終段階における大切な意思決定のプロセスなどを加えながら、改訂を重ねてきました。

本書が、がんで苦しんでいる患者さんやご家族の不安や悩みを少しでも和らげ、豊かな療養生活の一助となることを心から願っています。

令和8年4月

熊本県がん診療連携協議会幹事会相談支援・情報連携部会 部会長
熊本大学病院 乳腺・内分泌外科 教授

山本 豊

目 次

1 がんに関する相談窓口

がん相談支援センター	06
がん診療連携拠点病院とは	10

2 がんの診断

がんと告げられたら	11
がんところろ	13
家族が病気になった時の対応	18
「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)－人生会議－」	19
自分のがんを子どもにどう伝えるか	20

3 がんの治療

標準治療＝最も優れた治療（手術・薬物療法・放射線治療）	21
粒子線治療（重粒子線・陽子線）	25
免疫療法	26
がんゲノム医療	27
コラム1 他の治療法は？	29
セカンドオピニオン	30
がんの治療に伴う身体ケア（がんリハビリテーション・リンパ浮腫ケア・アピアランスケア）	33
コラム2 ヘルプマークを知っていますか？	34
がんの治療と口腔ケア	36
「私のカルテ」・「私の日記」	37

4 小児がん・AYA 世代のがん・希少がん

小児がん	38
AYA 世代のがん	40
がん治療と妊娠	41
希少がん	43
コラム3 中皮腫	45
コラム4 ATL（成人 T 細胞白血病リンパ腫）	46

5 緩和ケア

がんと言われたときから始まる緩和ケア	47
自分らしい生活続けるためにできること	48
緩和ケアを支えるチーム	49
緩和ケアを受ける場	50

家族への緩和ケア	51
熊本県内の緩和ケア病床と緩和ケア病棟	52

6 在宅療養支援

在宅医療	53
コラム5 訪問診療と往診	53
コラム6 医療用麻薬について	54
在宅療養を支援する施設や職種	54
介護保険	55
障害者総合支援法	56
自治体の任意事業	57
地域包括支援センター	57
ファミリー・サポート・センター	58
ひとり親家庭等の日常生活支援事業	58

7 がんの治療や生活を支える制度

熊本県の補助事業	59
医療費の負担を軽くする制度	63
コラム7 限度額適用認定証を申請しましょう	66
生活や暮らしを支える制度	72
がんと診断されたら就労相談	76

8 がんサロン・患者団体等のご紹介

がんサロン・患者団体等	82
コラム8 「がんサロン」で心癒やされて	82
コラム9 熊本県のがんサロン	85
コラム10 がんサロンネットワーク熊本について	85
コラム11 がんピアおしゃべり相談室	85
「がんピア（仲間）おしゃべり相談室」	88
熊本市がんサポートセンター「がん相談ホットライン」	88

9 がん検診を受けましょう

市町村がん検診担当一覧	89
-------------------	----

10 旅行時のポイント

91

11 災害時の窓口や備え

92

12 がんの情報を得るために

94

1 がんに関する相談窓口

●がん相談支援センター

がんに関する相談窓口として、「がん診療連携拠点病院」(P.10)に設置されている、「がん相談支援センター」があります。

がんに関する治療、医療費などの経済的なこと、ご自宅で療養をされる時に利用できる制度、お仕事のことなど、がんに関するお困りごとについてご相談ください。専門のがん相談員と一緒に考えていきます。

ご本人だけでなく、ご家族なども無料でご相談が可能です。



●診断・治療について

- ・どこで治療ができますか
- ・どのような検査が必要ですか
- ・セカンドオピニオンを受けたいなど

●医療費について

- ・どれくらい医療費はかかりますか
- ・負担を軽くする制度はありますか
など

●生活について

- ・仕事はできますか
- ・食事の制限はありますか
- ・自宅で生活するためのサービスはありますか

など

●こころについて

- ・説明を受けてから気持ちが落ち込んでいます
- ・不安があります
- ・夜が眠れません

など

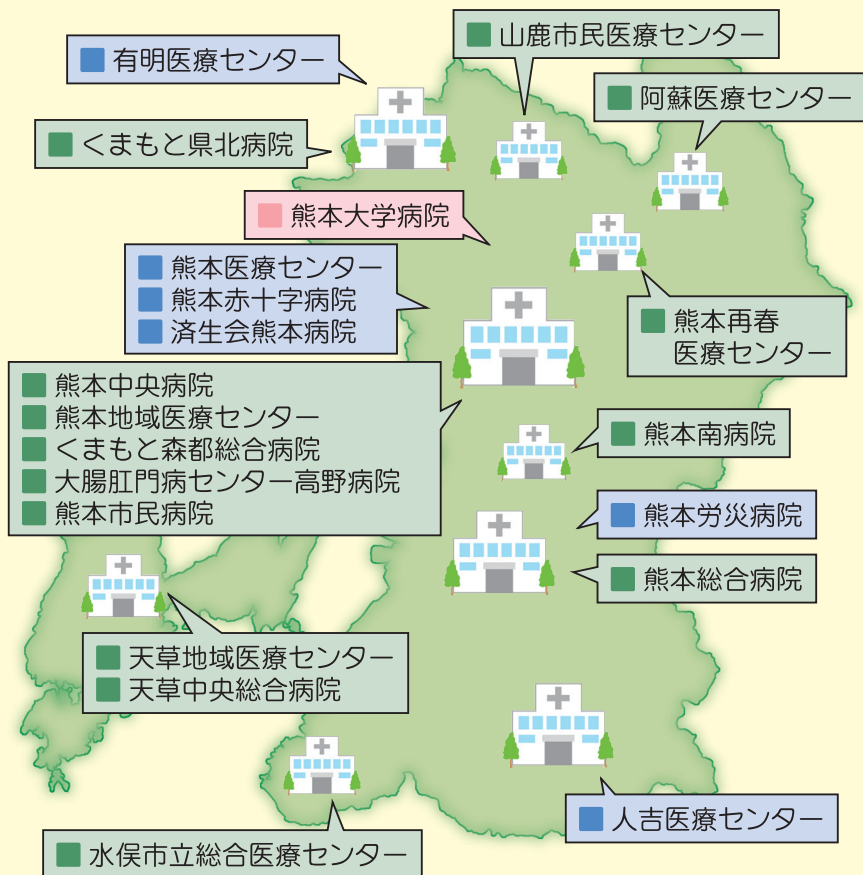
県内のがん相談支援センター

二次保健 医療圏	病院名	住所・電話番号
熊本 (全域)	★国立大学法人熊本大学病院	熊本市中央区本荘1-1-1 096-373-5676
熊本・ 鹿本	◆独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	熊本市中央区二の丸1-5 096-353-6501
熊本・ 菊池・ 阿蘇	◆熊本赤十字病院	熊本市東区長嶺南2-1-1 096-384-2111
熊本・ 宇城	◆社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	熊本市南区近見5-3-1 096-241-0275
熊本	医療法人創起会 くまもと森都総合病院	熊本市中央区大江3-2-65 096-364-6021
熊本	一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター	熊本市中央区本荘5-16-10 096-363-3311
熊本	社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院	熊本市中央区大江3-2-55 096-320-6500
熊本	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	熊本市南区田井島1-5-1 096-370-3111
熊本	熊本市民病院	熊本市東区東町4-1-60 096-365-1606
有明	◆荒尾市立有明医療センター	荒尾市荒尾2600 0968-63-1115
有明	くまもと県北病院	玉名市玉名550 0968-73-5000
鹿本	山鹿市民医療センター	山鹿市山鹿511 0968-44-2185

二次保健医療圏	病院名	住所・電話番号
菊池	独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター	合志市須屋2659 096-242-1000
八代	◆独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	八代市竹原町1670 0965-33-4151
八代	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	八代市通町10-10 0965-32-7111
天草	一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	天草市亀場町食場854-1 0969-24-4125
天草	独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院	天草市東町101 0969-22-0011
球磨	◆独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	人吉市老神町35 0966-22-2191
芦北	国保水俣市立総合医療センター	水俣市天神町1-2-1 0966-63-2101
宇城	独立行政法人国立病院機構 熊本南病院	宇城市松橋町豊福2338 0964-32-0826
阿蘇	阿蘇医療センター	阿蘇市黒川1266 0967-34-0311

★都道府県がん診療連携拠点病院 ◆地域がん診療連携拠点病院
無印：熊本県指定がん診療連携拠点病院

- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 熊本県指定がん診療連携拠点病院



がん診療連携拠点病院とは

がん診療連携拠点病院とは、どこに住んでいても質の高い、がん医療が受けられるように、がん診療の拠点として指定されている病院です。

熊本県内には、国指定の「都道府県がん診療連携拠点病院」（1か所）と「地域がん診療連携拠点病院」（6か所）、県指定の「熊本県指定がん診療連携拠点病院」（14か所）があります。その特徴は、以下のとおりです。

- ・専門的ながん医療（手術、薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療など）が受けられます。

- ・緩和ケア※が受けられます。

※緩和ケアとは、がんと診断された時から、患者さんやその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアのことです。がん診療連携拠点病院には、様々な専門職（医師・薬剤師・看護師・相談員など）による緩和ケアチームがあり、患者さんやご家族のつらさについて対応する体制があります。

- ・無料のがん相談窓口、がん相談支援センターがあります。

出張がん相談

がん診療連携拠点病院内にあるがん相談支援センターとは別に、がん相談支援専門員が県内を周り、がん相談を受け付ける相談会もあります。お近くに拠点病院がない方でも気軽に訪れることが出来ます。

詳細については、

熊本県がん連携サポートセンター ☎096-373-5558 まで。

2 がんの診断

●がんと告げられたら

『がん』と告げられるのは衝撃的なことです。『がんの疑いがある』と言われてから『がん』と告げられるまでの間も不安だったと思います。

がんの告知を受けたとき、大きな衝撃を受け、動揺するのは当然のことです。「頭が真っ白になった」「ショックで涙が出た」「告知を受けた後、どうやって家に帰ったのか思い出せない」という人もたくさんいます。また、怒りが込み上げてきたり、気持ちが不安定になったりする人もいます。食欲がない、不安で眠れない、前向きな気持ちになれないなど、こうした心の動きは、誰にでも起こります。

これから始まる治療をきちんと納得して受けるために、担当医からきちんと説明を聞きましょう。

●説明を受けるときのポイント！

①説明前に準備すること

気になること、
わからないことを
書き出します

書き出した内容を
整理し、優先順位
をつけます

質問することを
メモにまとめ
ましょう

②説明のとき

説明がわからない
時は、その場で
確認しましょう

後で確認できるよ
うにメモを取りま
しょう

わからないことが
出てきたら、看護
師やがん相談窓口
に聞きましょう

※家族や親しい人に同席してもらうと、少し落ち着いて受け止めることができるかもしれません。また、聞き漏らしたことなどを確認することができます。

質問例

●診断について

- ・診断名（病名）は何ですか？
- ・がんはどの程度進行していますか？



●今後の予定について

- ・今後はどのような検査がありますか？
- ・どのような治療がありますか？
- ・治療による副作用などはありますか？

●社会生活について

- ・今まで通りの生活（仕事）が続けられますか？
- ・普段の生活について注意することはありますか？

患者さんやご家族が、医師との面談の際に疑問点や不安なことについて質問するときの例文や、よくある質問の説明をまとめた冊子があります。

重要な面談

検索



国立研究開発法人国立がん研究センター がん情報サービスより

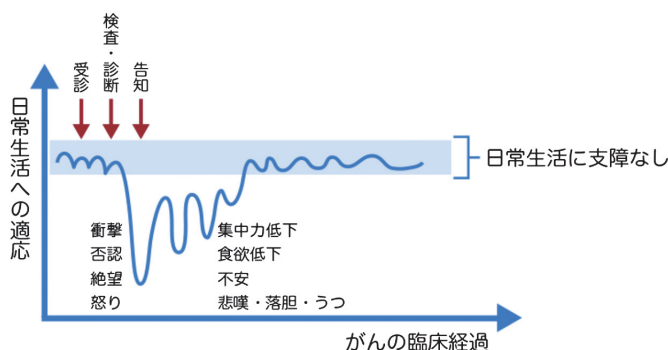
●がんところ

がんと告げられたとき、大きな衝撃を受けますが、誰にでも起こりうる自然なところの動きです。

やがて時間の経過とともに少しずつ冷静に考えることができるようになり、治療に向きあうことができるようになります。これも自然なところの流れです。

がんところと身体の反応

がんと告げられたとき、ところと身体はどのように反応するのでしょうか。



出典：厚生労働省 e-ヘルスネット情報提供より

病院を受診し、検査を受け、がんと診断を受けられたとき、大きな衝撃と動揺、混乱が生じます。気持ちが不安定になり、何かの間違いであると否認したり、集中力の低下などところの症状が現れてきます。身体の症状としては、食欲がない、夜眠れないなどの症状が現れ、この状態が1～2週間程度続く方が多いという報告があります。その時期を過ぎると、少しずつ日常を取り戻していきます。

- ☐ 頭が痛い・重い
- ☐ 肩や首筋がひどく凝る
- ☐ 食欲がなくなる
- ☐ 息が詰まり、苦しい
- ☐ 動悸がする
- ☐ 血圧が高くなる
- ☐ 便秘や下痢になる
- ☐ 眠れない
- ☐ なんとなく体がだるく、疲れやすい

- ☐ 気分が憂うつだ
- ☐ 何をしてもしめない
- ☐ やる気がでない
- ☐ 物事に集中ができない
- ☐ 怒りっぽくイライラする
- ☐ いつも緊張していてリラックスできない
- ☐ そわそわして気持ちが落ち着かない
- ☐ 考えたくないのに嫌なことを考えてしまう
- ☐ 心配事が頭から離れない



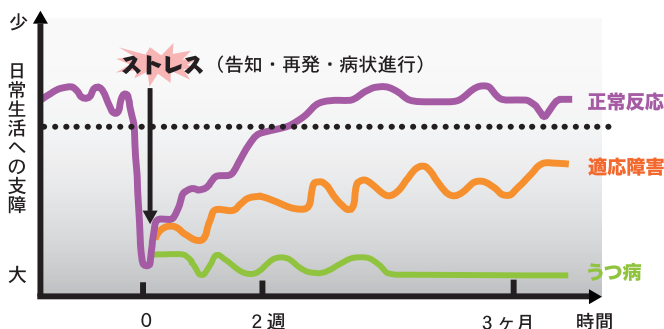
- ☐ お酒の量が増える
- ☐ 過度にギャンブルにのめりこむ
- ☐ 衝動買いが増える
- ☐ 食事を食べない／食べ過ぎる
- ☐ 外出が減り引きこもる
- ☐ 習い事や趣味をやりがらない
- ☐ 会社を休みがちになる
- ☐ 横になってばかりいる

出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより（一部図を変更）

上の図は、日本サイコオンコロジー学会がまとめた、こころと身体
の症状に関するチェック表です。該当するものが多い方は一度こころ
の治療について考えてみましょう。

主なこころの疾患

がんと告げられ、なかなかこころと身体の症状が回復してこない場合、こころの疾患の治療が必要なことがあります。主な疾患についてご紹介します。



出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより

● 適応障害

がんの治療を受けながらの生活は、これまで経験したことがなく、想像もしたことがない生活です。新しい環境に慣れることができず、頭痛、動悸、身体のだるさ、不眠など身体の症状に、落ち込み、不安、意欲の低下などこころの症状が現れ、これらの症状のために仕事ができないなど、日常生活の送りづらさを感じた状態を、適応障害といいます。

● うつ状態

適応障害よりこころの苦痛がひどく、身のおきどころがない、何も手につかないなどの落ち込みが2週間以上持続し、日常生活を送ることが困難な状態です。エネルギーが枯渇する、よく例えて使われるのが、車のガス欠状態のようなものと言われます。

* * 心の症状 * *

■ 気分の落ち込み ■

- ・ 気分が落ち込み、憂うつな気分になる
- ・ 悲しい気持ちになる
- ・ 何の希望もなくなる

■ 興味関心 ■

- ・ これまで好きだったことへの興味や喜びがなくなる
- ・ 笑わなくなった
- ・ 身だしなみに関心を払わなくなる

■ 意欲の低下 ■

- ・ 気力が低下して、何をするにも億劫になる
- ・ 人付き合いも嫌になる
- ・ 仕事をしたくなくなる
- ・ テレビや新聞を見なくなる

■ あせり・罪悪感 ■

- ・ あせってイライラする
- ・ 根拠もなく自分の責任だと思う
- ・ 過去の小さなことを思い出しては悩む

■ 思考力の低下 ■

- ・ 集中力がなくなり能率が下がる
- ・ 物事の判断ができなくなる

* * 体の症状 * *

■ 睡眠 ■

- ・ 眠れない
- ・ 眠りが浅かったり、朝早く目が覚める
- ・ 朝、目が覚めたときが一番憂うつ
- ・ 睡眠不足から頭痛や肩こりに悩まされる

■ 食欲 ■

- ・ 食欲がなくなる
- ・ 何を食べても美味しいとは思えず、砂をかんでいるようだ
- ・ 体重が減った（または増えた）
- ・ 胃がもたれる
- ・ むかつきがある

■ その他 ■

- ・ 発熱が続く
- ・ めまいがする
- ・ 息切れがする
- ・ 体がだるい
- ・ 動いていないのに、疲れやすい
- ・ 体の動きが遅い
- ・ トイレが近くなる
- ・ 便秘や下痢に悩まされる
- ・ 性欲が落ちる

出典：日本サイコオンコロジー学会ホームページより

自分で取り組むこころのケア

● 人に相談する

- ・信頼できる方にお話を聞いてもらいましょう
- ・がんサロンや患者会などに参加して経験者のお話を聞いてみましょう
- ・担当医や看護師、相談員に相談してみましょう
- ・心療内科や精神科に相談してみましょう

● こころの中を整理する

- ・疑問や心配事、不安に思っていることを紙などに書き出し、今考えるべきこと、あとで考えてもよいことの仕分けをしてみましょう
- ・がん専門相談員、本、インターネットなどから正しい情報を集めましょう

※インターネットにはいろいろな情報が掲載されています

正しいものかどうかを吟味して利用しましょう

国立がん研究センターがん情報サービスのホームページでは多くの情報を得ることができます（P.94-95）

● 病気を忘れる時間を作る

- ・趣味のある方は、趣味に打ち込んでみましょう
- ・周囲の景色などを眺めながら散歩をしてみましょう
- ・負担にならない程度に身体を動かしてみましょう
- ・好きな映画やテレビを観てみましょう



● いつもと違う考え方や対処法を試してみましょう

- ・自分が心配していることが起こる可能性はどれくらいあるのかを冷静に考えてみましょう
- ・過去のつらかった状況を乗り越えるのに役立った考え方などを思い出して、応用できるかを考えてみましょう
- ・経験者の方や他の患者さんが行っている取り組みを試してみましょう

● 自分を責めないようにしましょう

- ・病気になると誰でも不安を感じます
不安を抱くのは当然のことと考えてみましょう
- ・落ち込んでいる自分、不安を持っている自分を責めないようにしましょう

自然なこころの動きです

●家族が病気になった時の対応

家族ががんと告げられることは、家族にとっても大きな衝撃です。生活のこと、経済的なこと、いろいろなことが心配になると思います。

一方で、患者さんが苦しんでいるのに、自分がしっかりしなければならぬと頑張りすぎる方がいます。また、患者さんにどのように接したらよいかわからないという方もいます。

家族の対応の仕方についてご紹介します。

●患者さんの話に黙って耳を傾ける

患者さんが話をしていると、ついつい口をはさみたくなりますが、そこは少しこらえて、患者さんの話に耳を傾けてはいかがでしょうか。患者さんの話を黙って聞くことが患者さんの気持ちの理解や共感につながります。



患者さんから「つらい」という言葉が聞かれると家族が元気づけようと「そんなこと言わずに頑張ろうよ」と口をはさむことがよくあります。そうすると、患者さんは本当の気持ちを話せなくなります。このような場合には、何がつらいのか患者さんから聞き、つらさを共有してあげることが患者さんの支えにつながることがあります。

●病気や死に関する話題について率直に話し合う

患者さんがご自分の病気や死に関する心配を口にしたときには、何が心配なのか、将来の計画をどうしたいと考えているのかなどを率直に話し合い、患者さんの意思を尊重して家族に何ができるかを考えてみてはいかがでしょうか。患者さんの心配を一緒に考えてあげるとは、患者さんの安心感につながります。

●これまでどおりに接する

病気をきっかけに特別扱いされることで患者さんにとっては家族の中での孤立感を強める場合があります。担当医に、現在の身体状況で何ができて何ができないかを確認したうえで、患者さんができること、やりたいことを一緒に相談していきましょう。時には家族の手助けも必要となることもあるかもしれませんが、ご家族のこれまで通りの対応が患者さんの生きがいにつながります。

●「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)－人生会議－」

「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」とは、「もしものときのために、本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと」(厚生労働省ホームページより)であり、「人生会議」とも言われます。患者さんの意思が確認できなくなったときにも、それまでの意思をもとに尊厳あるその人らしい生き方を実現するためのものです。また、自分の代わりに難しい決断をしなければいけない家族の負担を軽くすることもできます。

死が近づいた時などの特定の時期に限定したものではなく、また生命維持治療など特定の治療やケアに限定したものでもありません。病状や治療の変化に伴い患者さんの意思も変わることがあるので、繰り返し話し合い、その情報を家族や医療者と共有しておくことが大切です。

意思決定やアドバンス・ケア・プランニングについてもっと詳しく知りたい方、あるいは実際にやってみたい方は、最寄りのがん相談支援センター(P.7～8)や熊本大学病院緩和ケアセンター等にお尋ねください。



●自分のがんを子どもにどう伝えるか

がんと診断されたとき、治療のこと、生活のこと、仕事のことなど様々なことを悩み不安に感じます。自分のがんを子どもにどう伝えるかも大きな悩みの一つです。同時に子どもも家族の変化に何かを感じとり不安になることもあります。

子どもにいつどのように伝えるか、担当医や看護師、相談員に相談し一緒に考えてみましょう。

本や資料を使うことでイメージができ、伝えやすくなったり、伝え方のヒントが見つかったりするかもしれません。

●ホープツリー

がんになった親を持つ子どもへのサポート情報サイトより

<https://hope-tree.jp>



3 がんの治療

がんの治療には様々なものがあります。その主なものは手術と薬物療法（抗がん剤治療）、放射線治療です。病気の種類や状態によって異なりますので、詳細は担当医などにご相談してください。

●標準治療＝最も優れた治療 （手術・薬物療法・放射線治療）

標準治療と先進医療はよく比較されます。「先進」と「標準」という言葉を比べると、どうしても標準の方が劣っているように感じてしまいが、標準治療というのは「現時点で最も効果が期待できる優れた治療法」の事です。

がん治療においては診療ガイドライン（推奨グレード）といい、がんの種類や進行度合いによって推奨される治療法が決まっています。その推奨グレードで最も高いグレードAにあたるものが標準治療です。世界中の治験実績やデータを元に、最もお勧めできる治療法がグレードAの治療ということになります。



●手術

手術とは身体にできた腫瘍などを切除する外科的な治療のことをいいます。

がんに対する手術療法は、原発巣（おおもとの腫瘍）とその周囲のリンパ節を切除することが一般におこなわれています。また、胃や大腸といった消化管（食物の通り道）を切除する場合には、切除した後に通り道を再建することも必須となります。したがって単純に腫瘍を切除するだけではない、高度な技術が要求されます。

手術は患者さんの身体に加わる侵襲が大きく、出血や全身麻酔に伴うリスクもあります。したがって手術によるメリット（がんを治せる可能性など）が十分にあると判断された場合に初めて適応となります。そのような手術以外に、がんによる苦痛症状などを緩和するためにおこなう手術（姑息的手術といいます）もあります。

最近では「腹腔鏡手術」や「ロボット手術」などの手術方法そのものも進化しています。手術を受ける場合には、何のために受けるのか、どのような方法があるのか、どの程度のリスクがあるのか、といったことの説明を担当医から十分に受け、理解し納得した上で受けていただくことが重要です。



●薬物療法（抗がん剤治療）

薬物療法とは、抗がん剤、分子標的薬、ホルモン剤などによる治療をいいます。

抗がん剤は100種類近くあり、治療薬として使われています。がんを殺す能力を持つ抗がん剤、分子に作用してがん増殖を抑える分子標的薬、がんを殺す免疫を復活させる免疫チェックポイント阻害薬などがあります。



薬物療法の効果が出やすい一部のがんでは、薬物療法のみでがんを治すことを目指します。また、がんの種類や進行の程度によっては、手術（外科治療）や放射線治療に薬物療法を組み合わせることにより、治癒を目指す治療を行います。がんが進行した状態で見つかった場合や再発した場合など、がんの治癒を目指すことが難しくなったときは、がんの進行を抑えたり、症状を緩和したりするために、薬物療法を行います。

薬物療法は手術や放射線治療などの局所を治療する方法と違い、がん細胞だけでなく他の健康な細胞にも影響を及ぼすため全身に影響が出ることが多いとされます。治療を始める前に、治療期間や予想される副作用、日常生活の注意点などについて説明を受けましょう。副作用が現れたら、我慢せずに医師や看護師、薬剤師に相談しましょう。

● 放射線治療

放射線治療は手術、薬物療法と並ぶがんの3大治療法の1つです。手術と同様、局所に対する治療ですが、臓器を取り除いたりすることなくがんの部分に放射線をあてて治療します。放射線があたっても、痛みや熱を感じることはありません。

治療の目的は、完治を目指す場合と苦痛を緩和する場合の2つに分かれます。単独で行われることもありますが、手術や薬物療法と併用されることもあります。

副作用としては、全身の倦怠感、食欲低下、貧血、白血球減少、血小板減少、皮膚の変化などがあります。症状が現れた場合は、医師や看護師などにご相談ください。



●粒子線治療（重粒子線・陽子線）

粒子線治療とは、重粒子線や陽子線等をがんの病巣に照射して治療する、放射線治療の種類です。標的となるがん病巣に対して重粒子線や陽子線を集中して照射ができるため、がん細胞を死滅させる効果が高く、副作用がすくなくできます。重粒子線と陽子線の違いは、重粒子線の方が陽子線より集中して照射できる点です。

効果的ながんの種類としては、前立腺がん、頭頸部の腫瘍、肺がん、肝臓がんなどに現在のところ有効とされています。

しかし、保険適用がされている診察や検査、入院料、薬代以外の費用（重粒子線そのものの治療）は自由診療という保険外の治療になるため、高額な負担がかかります。九州では、鹿児島県や佐賀県に専門の治療施設があります。

【粒子線治療における公的医療保険適用の可能性があるがん種】

一部のがん種では、特定の医学的状況において、公的医療保険適用の可能性があるものがあります。ただし、当該がん種であっても適用にならない場合があるので主治医に確認しましょう。

陽子線治療	重粒子線
頭頸部悪性腫瘍（口腔・咽喉頭の扁平上皮癌を除く）、早期肺癌（Ⅰ－ⅡA期）＊、肝細胞癌＊（長径4cm以上）、肝内胆管癌＊、局所進行性膵癌＊、局所大腸癌＊（手術後に再発したもの）、限局性及び局所進行性前立腺癌、限局性の骨軟部腫瘍＊	
小児腫瘍 （限局性の固形悪性腫瘍）	局所進行性子宮頸部腺癌＊、局所進行性子宮頸部扁平上皮癌（長径6cm以上）＊、婦人科領域の悪性黒色腫＊

＊手術による根治的な治療が困難であるものに限る
日本放射線腫瘍学会のホームページから引用（2024年6月時点）

●免疫療法

免疫療法は、私たちの体の免疫を強めることにより、がん細胞を排除する治療法です。この治療法は近年注目されており研究が進められています。しかし残念ながらまだほとんどの免疫療法では有効性（治療効果）が証明されていません。

現在、効果が証明され、診療ガイドラインに記載されて標準治療となっている治療方法は、「がん細胞などが免疫にブレーキをかける仕組み」に働きかける免疫チェックポイント阻害薬などの一部の薬に限られています。

効果が証明されている免疫療法についてもすべての患者さんに効果があるわけではなく、一定の割合の患者さんにのみ効果があるということがわかっています。

副作用については、従来の化学療法に比べて少ないと報告されていますが個人差が大きく、いつ生じるか予測がつかないため注意が必要です。

また、思わぬ部位に副作用が出ることもありますので、免疫療法を受ける前に副作用についてよく確認し、いつもと違う症状を感じたら、医師や薬剤師、看護師にすぐに相談しましょう。

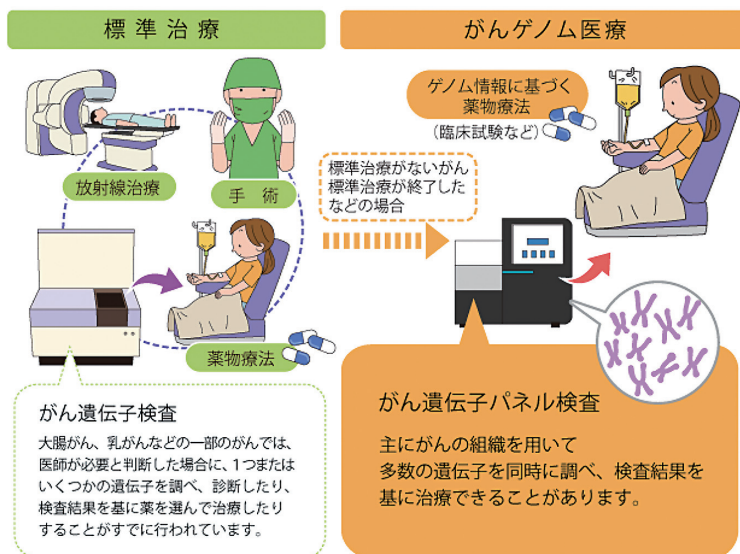
●がんゲノム医療

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて、多数の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」^(※1)によって、一人一人の遺伝子の変化や生まれ持った遺伝子の違い（遺伝子変異）を解析し、がんの性質を明らかにすることや体質や病状に合わせた治療などを行う医療です。

一部のがんの治療では、がんの組織などを用いて1つまたはいくつかの遺伝子を調べる「がん遺伝子検査」を行い、遺伝子の変化に対応した薬の選択が、標準治療としてすでに行われています。

一方、がんゲノム医療として、多数の遺伝子を同時に調べる検査である「がん遺伝子パネル検査」は、標準治療がないまたは終了したなどの条件を満たす場合に行われています。

(※1) がん遺伝子パネル検査は、合う薬があるかどうかを調べる検査です。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『がんゲノム医療 もっと詳しく』

がんゲノム医療拠点病院

熊本大学病院	熊本市中央区本荘 1-1-1 がんゲノムセンター 096-373-5643
--------	---

がんゲノム医療連携病院

済生会熊本病院	熊本市南区近見 5-3-1 がんゲノムセンター 096-241-0200
熊本赤十字病院	熊本市東区長嶺南 2-1-1 患者サポートセンター（医療連携室） 096-384-2111
国立病院機構 熊本医療センター	熊本市中央区二の丸 1-5 がん相談支援センター 096-353-6501

〈予約についての注意点〉

必ずかかりつけ医（現在治療をお受けの医療機関）から予約をしてもらいましょう。患者さんからの直接予約は受け付けていません。

●がんゲノム検査についてのお問い合わせ

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（P.7～8）

【コラム1】他の治療法は？

治療法の中には、がんの場所や大きさ、進行度等によって適用できない場合もあります。また、補完代替療法を使用するときには、必ず主治医に相談し、自分にとって本当に必要なものか、慎重に検討しましょう。

● 温熱療法

温熱療法は、がん細胞が正常の細胞と比べて熱に弱いという性質を利用した治療法です。

全身を温める方法（全身温熱療法）と、がんやその近くを温める方法（局所温熱療法）があります。一般的には局所を電磁波やマイクロ波などを用いた装置で温めます。また、胆管など管腔内に器具を入れて温める方法やがん組織に電極を刺し温める方法もあります。単独で行われるより複数の治療法を組み合わせることが多いようです。国内で治療を行う装置の普及も増え、現在は全面保険適用になりました。がんの場所や進行度によっては適さないこともありますので治療法の選択については、担当医とよく相談して受けるようにしましょう。

● 補完代替療法

補完代替療法とは、がんの治療の目的で行われている治療法（手術、薬物療法、放射線療法など）を補ったり、その代わりに行う医療のことをいいます。

健康食品やサプリメント、鍼・灸、マッサージ療法、運動療法、心理療法、心身療法などがあります。しかし、補完代替療法はがんの進行を遅らせる、生存率を高めるという治療効果が科学的に証明されたものではありません。必ず担当医と相談のうえよく検討することが大切です。

● ラジオ波焼灼療法（RFA）

身体の外から特殊な針をがんに直接刺し、通電してその針の先端部分に高熱を発生させることで、局所的にがんを焼いて死滅させる治療法です。焼灼時間は10～20分程度です。

● 凍結療法

腫瘍に特殊な針を刺してがん細胞を凍らせ、細胞膜を破壊し、壊死させる治療法です。高齢や持病などの理由により手術が難しい場合に実施することがあります。

●セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは、治療の進行状況、治療の選択などについて、担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。担当医を替えたり、転院したり、治療を受けたりすることではありません。

セカンドオピニオンを受けることで、病気に対する理解が深まったり、別の治療法が提案された場合には治療の選択の幅が広がったりすることがあり、より納得して治療に臨むことができます。担当医が気を悪くされてはいけなと心配される方もいらっしゃると思いますが、セカンドオピニオンは、納得できる選択をするために大変有用な仕組みです。

●セカンドオピニオンを受ける場合

担当医の意見を十分に理解した上で、担当医にセカンドオピニオンを受けたいと考えていることを伝え、紹介状（診療情報提供書）、血液検査、病理診断記録、画像検査結果などを依頼します。

セカンドオピニオン先の病院には、その目的、病気の経過、質問事項などを整理し、メモしてから行きましょう。信頼できる人に同行してもらおうとよいでしょう。

セカンドオピニオンを受けたら、現在の担当医に報告した上で、これからの治療法について再度相談しましょう。

セカンドオピニオン外来を行っている病院、専門領域などの情報は、がん相談支援センターに聞くことができます。

〈セカンドオピニオンを受ける時の流れ〉

①担当医に診断と治療方針（ファーストオピニオン）を聞きましょう

②セカンドオピニオンを受けたいという希望を担当医に伝えて、紹介状を書いてもらいましょう

③希望の医療機関にセカンドオピニオンの申込みをしましょう

④事前に、聞きたいこと、ご自分の希望などをまとめておきましょう

⑤セカンドオピニオンの結果を担当医に報告して、今後のことを相談しましょう

※迷われた場合はがん相談支援センターに相談してみましょう。

がんに関するセカンドオピニオン問い合わせ先一覧表

	医療機関名受付窓口	セカンドオピニオン 受付時間	問い合わせ先	セカンドオピニオン料金 (報告書作成含む・税込)
熊本	熊本大学病院 地域医療連携センター	月～金 8:30-17:15	096-373-5676	1回 35,640円
	熊本市民病院 がん相談支援センター	月～金 8:30-17:00	096-365-1606	30分 7,850円 以降30分 7,850円
	熊本赤十字病院 医療社会事業課	月～金 8:30-17:00	096-384-2111	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	国立病院機構熊本医療センター 地域医療連携室	月～金 8:30-17:00	096-353-6501	30分 11,000円 以降30分 11,000円
	済生会熊本病院 地域医療連携室	月～金 9:00-17:00	096-351-8372	1回 33,000円 ※最長60分
	熊本中央病院 がん相談支援センター	月～金 9:00-16:00	096-370-3111	30分 11,000円 以降30分 11,000円
	熊本地域医療センター 地域医療連携室	月～金 9:00-17:00	096-363-3311	30分 5,500円 以降30分 5,500円 ※最長60分
	くまもと森都総合病院 セカンドオピニオン 相談窓口	月～金 8:30-17:00	096-364-6021	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長90分
	大腸肛門病センター高野病院 がん相談支援センター	月～金 9:00-17:00 土 9:00-12:00	096-320-6500	1回 5,500円 (診療を行った 場合は保険診療 内で負担)
有明	荒尾市立有明医療センター 患者サポート・医療連携室	月～金 8:30-17:15	0968-63-1115	30分 7,840円 以降30分 7,840円
	くまもと県北病院 地域医療連携室・がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	0968-73-5000	30分 11,000円 以降30分 11,000円
鹿本	山鹿市民医療センター 地域医療連携室・がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	0968-44-2185	30分 6,050円 以降30分 3,300円
菊池	熊本再春医療センター がん相談支援センター	月～金 8:30-17:15	096-242-1000	30分 11,000円 以降30分 5,500円

	医療機関名受付窓口	セカンドオピニオン 受付時間	問い合わせ先	セカンドオピニオン料金 (報告書作成含む・税込)
天 草	天草地域医療センター 地域医療連携センター	月～金 8:30～17:30	0969-24-4125	30分 11,000円 以降30分 11,000円 ※最長60分
	天草中央総合病院 地域医療連携室	月～金 8:30～17:15	0969-22-0011	30分 5,500円 以降30分 5,500円
宇 城	国立病院機構熊本南病院 地域医療連携室	月～金 8:30～17:15	0964-32-0826	60分 11,000円
八 代	熊本労災病院 地域医療連携室	月～金 8:15～17:00	0965-33-4151	30分 7,500円 以降30分 7,500円
	熊本総合病院 地域医療連携室	月～金 9:00～17:00	0965-32-7111	相談無料
芦 北	国保水保市立総合医療センター 地域医療支援センター	月～金 8:30～17:00	0966-63-2101	30分 7,700円 以降30分 7,700円
人 吉	人吉医療センター 相談支援センター	月～金 8:30～17:00	0966-22-2191	30分 11,000円 延長30分 11,000円
阿 蘇	阿蘇医療センター 地域医療連携室	月～金 9:00～17:00	0967-34-0311	30分 11,000円 以降30分 11,000円

※費用は、基本的に公的医療保険が適用されない自費診療で、病院によって異なります。

●がんの治療に伴う身体ケア

がんの治療を行うことにより、身体にも様々な変化が起きます。ここでは、がん治療後の身体をケアする方法についてご紹介いたします。

詳細なことは、がん相談支援センターにお尋ねください。

●がんリハビリテーション

能力を維持・向上させ、今までと変わらない生活を取り戻すことを支援することによって、生活の質（ＱＯＬ：クオリティー・オブ・ライフ）の維持や向上を目的として行われます。がんのリハビリは、がんと診断されたときから、障害の予防や緩和、あるいは能力の回復や維持を目的に、あらゆる状況に応じて対応を行います。

・予防的リハビリテーション

がんと診断され様々な治療が開始される前から行われます
治療に伴い生じるであろう機能障害を予測し、その予防を目的に行われます

・回復的リハビリテーション

治療後に生じた機能や能力の低下を出来るだけ治療前の状態に近づけ日常生活の再獲得を目的として行います
医師の指示のもと治療後の早い段階から行われます

・維持的リハビリテーション

がんの進行に伴い生じる様々な機能や能力の低下に対して、その都度行われます
運動や動作のコツの指導、自助具や福祉用具に関する提案や動作指導が行われます



・緩和的リハビリテーション

ご本人の要望に合わせながら、疼痛や苦痛を緩和すること、動作の工夫によりＡＤＬ（日常生活動作）の維持を図ること、マッサージや会話を通して精神的な援助を行うことなどを目的に行われます

●リンパ浮腫ケア

リンパとは、人間の身体をめぐる水分で、心臓から血液として送り出された後、多くは血管の中を流れますが、残りはリンパ液として血管の網目からリンパ管に流れていきます。リンパ液はリンパ節から静脈に戻って心臓に帰っていきます。浮腫（むくみ）はリンパ液が増えることが原因です。リンパ液の流れが悪くて起こるむくみをリンパ浮腫といいます。

リンパ浮腫は生まれつきリンパ管の発達の悪い人や病気や治療でリンパ節が十分に働けない状態で起こります。多くは乳がんや婦人科がんの患者さんに起こります。

予防としては運動療法とスキンケアがあります。むくみが出やすいところを動かすなどして流れをよくします。スキンケアは皮膚が乾燥しないようにローションを使ったりします。浮腫がある場合は、弾性ストッキングを使用したり、リンパマッサージが有効ですが、どちらも専門の外来などに相談したうえで行いましょう。

【コラム2】ヘルプマークを知っていますか？

内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見からはわかりにくい障がいや症状を抱える方が身に付けることで、援助や配慮を必要としていることを周囲に知らせるためのマークです。熊本県ではカード型とストラップ型の2種類を配付しています。

（配付窓口）県健康福祉政策課、県保健所、協力市町村福祉担当窓口等

お問い合わせ

熊本県健康福祉部 健康福祉政策課
地域支え合い支援室 096-333-2202



カード型



ストラップ型

● アピアランスケア（外見支援）

がんやがん治療に伴って、脱毛や皮疹、手術後の傷など外見に変化が生じることがあります。外見の変化によって気持ちが落ち込んだり、人前に出ることに消極的になったり、生活に影響する場合には医療者にご相談ください。ご本人にあった対処方法について一緒に考え、自分らしく安心して生活できるように支援します。

例えば、乳がんの治療の後の乳房の再建、脱毛に対するかつらの使用などがあり、専門の外来を設けているところもあります。がん相談支援センターでも詳細な情報を得ることができます。

また、市町村によってはアピアランスケア用品
購入費用の一部を助成する制度があります。

※ P.59熊本県がん患者 QOL 向上事業参照



● アピアランスケア教室

熊本大学病院がんセンターでは、がん治療を受ける方のためにアピアランスケア教室を実施しています。会場での実施だけでなくオンデマンドでの配信も行っています。詳細はホームページでご確認ください。

熊本大学病院 がん相談支援センター
アピアランスケア



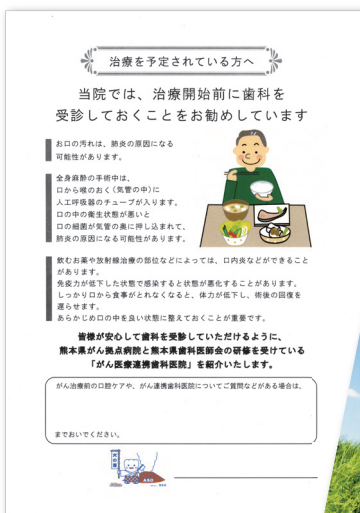
●がんの治療と口腔ケア

がんの治療では、口の中にさまざまなトラブルが高い頻度で現れます。痛みだけでなく、食事や会話を妨げたり、時にはトラブルのため入院が長引いたり、がんの治療自体に影響が出ることもあります。

また、がんの治療によって身体の変化が起き、抵抗力が落ちた状態でさらに食事がきちんと取れないと、体力も低下してしまいます。

このため、熊本県ではがん診療連携拠点病院と歯科医院が連携し、手術、薬物療法、放射線治療の前などに、かかりつけの歯科医院を受診していただき、虫歯がないかやお口の中の傷や感染症がないかをチェックし、安心して治療を受けていただけるようにしています。歯科医院への通院が困難な方のために、ご自宅や施設へ伺うこともできます。

がん診療連携拠点病院と連携している歯科医院については、熊本県歯科医師会のホームページ（<http://www.kuma8020.com/>）で検索できます。



●「私のカルテ」・「私の日記」

熊本県では、だれもがいつでもどこでも安心してがんなどの治療を受け、療養生活を送られるように「私のカルテ」や「私の日記」を運用しています。

●「私のカルテ」とは

がん診療連携拠点病院の専門医と、お住まい近くの医療機関の医師が連携して（役割分担して協力しながら）がんの患者さんを診るために作られた計画表が入っているファイルを「私のカルテ」と呼んでいます。



熊本県内のがん診療連携拠点病院からお渡しするもので、がんの患者さんご自身が所持し、がん診療連携拠点病院や地域の医療機関、歯科医院などを受診する際あるいは保険薬局を利用する際などに提示し記録をしていくご自身のカルテです。診療報酬上の点数があるため場合によって負担金があります。

●「私の日記」とは

皆さんが体調や治療のこと、日常生活のこと、気持ち等を自由に記載して、大切な想いをつなぐための日記です。「プロフィールや大切にしたいこと」編と「体調のきろく」編がひとつのカバーに収まっています。

ープロフィールや大切にしたいことー

まず初めに、ご自身のプロフィールや大切にしたいこと、生活の中で大事にしていることなどを考えてみませんか。「どんなことが好きか」「どんなふうに過ごしたいか」—そうした想いを知ることで、医療者はよりその人らしいケアを考えることができます。



ー体調のきろくー

毎日の体調や生活について記載します。「今日は少し楽だった」「こんな症状が気になる」「気持ちが落ち着かない」—そんな小さな声も、大切な情報です。

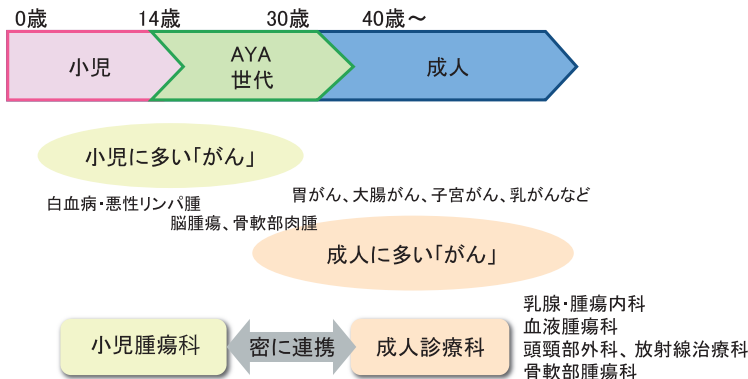
1冊目が終わったら2冊目へ取り替えて使います。



詳しくは、がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター もしくは
熊本県がん連携サポートセンター（☎096-373-5764）へ
お尋ねください

4

小児がん・AYA世代のがん・希少がん



出典：国立がん研究センター東病院ホームページより

小児がん

小児がんは、小児がかかる様々ながんの総称です。血液のがんである白血病や悪性リンパ腫を除き、大人では稀なものばかりです。胃がんや肺がんなどは、子どもには見られません。

主な小児がん

白血病	血液のがんです。小児がんのうち約40%を占めます。
脳腫瘍	頭蓋骨の中にできた腫瘍です。白血病に次いで多く、小児がんの約20%を占めます。子どもに多い脳腫瘍はグリオーマ（神経膠腫（しんけいこうしゅ））、胚細胞腫瘍、髄芽腫（ずいがしゅ）などです。
リンパ腫	リンパ節、脾臓、骨髄など、細菌やウイルスの排除などの免疫機能をつかさどるリンパ組織から発生するがんです。リンパ組織は全身に及んでいることから、全身のあらゆる部位に発生する可能性があります。
神経芽腫	交感神経のもとになる細胞から発生する腫瘍です。腎臓の上にある副腎や交感神経節（背骨のわき）などから発生します。
胚細胞腫瘍	精子や卵子になる前の未成熟な細胞から発生した腫瘍の総称です。縦隔（胸の奥）、後腹膜、仙尾部（お尻の骨）などの身体の真ん中に発生します。

出典：国立がん研究センター小児がん情報サービスより

専門の医療機関や治療など小児がんに関する情報は、診断された医療機関やがん診療連携拠点病院のがん相談支援センター、国立がん研究センター小児がん情報サービスなどをご利用ください。

また、小児がんに関する医療相談には「小児がん医療相談ホットライン」という電話相談窓口もあります（相談は無料ですが、通話料はかかります）。

小児がん情報サービス <https://ganjoho.jp/child/index.html>

小児がん医療相談ホットライン 03-5494-8159

（平日10：00～16：00）

小児がん拠点病院と連携病院

小児がん患者と家族が安心して医療や支援を受けることができるため「小児がん拠点病院」や「小児がん連携病院」が設置されています。

熊本では、小児がん連携病院が2施設あります。

医療機関名	住所・電話番号
熊本大学病院	熊本市中央区本荘1-1-1 096-373-5676
国立病院機構 熊本医療センター	熊本市中央区二の丸1-5 096-353-6501

●医療費の助成

子どもの病気に関する医療費の助成があります。対象年齢やご負担額などは、お住まいの市町村で異なりますので、詳しくは市町村窓口にお問い合わせください。

また、小児やAYA世代のがんは、18歳まで利用が可能な「小児慢性特定疾病医療費助成制度」が利用できます。引き続き治療が必要な場合は20歳未満まで利用できる場合もあります。

保護者の負担金は、所得により負担上限額が決められます。管轄の保健所（熊本市は各区役所の保健子ども課）において手続きが必要です。

● 病児・病後児保育事業

子どもが病気の際に、保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことができない間、病院・保育所等で病気の児童を一時的に保育する制度です。

病児とは、回復期に至らないが、入院治療を必要とせず、当面の症状の急変が認められない子どものことです。病後児とは、病気の回復期であるが、集団保育が困難な子どものことをいいます。お預かりする施設には、保育士、看護師等が配置されています。開設日・開館時間・利用料金・対応可能な症状は、施設によって異なります。また、施設の利用には、事前の登録が必要な場合もあります。

詳しくは、各市町村へお問い合わせください。

AYA 世代のがん

思春期・若年期に発生する“がん”を Adolescent and Young Adult, (AYA) 世代（15歳～39歳）のがんと呼びます。がんの治療とともに、進学、就職、結婚、出産等様々な社会的変化を伴う年代であることから、年齢に応じた療養環境や人的サポートが必要です。

● AYA世代のがん患者さんが抱える問題

不安やストレス	病気や治療への不安、治療の副作用・外見の変化に伴うストレス、進路や結婚・出産等将来への不安、晩期合併症についての不安
家族の問題	親子・兄弟姉妹との関係
社会的問題	学校・友人との関係、仕事・職場の問題、経済的な悩み

● 主な相談の内容

がん治療を開始する前に何をすればいいかわからない

妊娠・出産が出来るのか知りたい

がんの生殖医療の専門家に相談したいがどこに行けばいいかわからない

がん治療と妊娠

がんの治療で薬物療法（抗がん剤治療）や放射線療法を行うことがあります。治療の影響で、妊娠のしやすさ（妊よう性・受胎能力）が低下したり、ホルモンバランスの異常や不妊になることがあります。妊娠や出産はAYA世代のがん患者さんにとって心配される問題の一つで、女性・男性としての役割を失う恐怖や人生設計をする上でも困難を感じてしまうことも少なくありません。このような悩みをお一人で抱えず、主治医やがん相談支援センターにご相談ください。

●妊よう性温存について詳しく知りたい方

国立がん研究センター がん情報サービスのホームページで詳しく解説しています。

国立がん研究センター がん情報サービス

「妊孕性 男性患者とその関係者の方へ
～がんの治療と生殖機能への影響について～」



「妊孕性 女性患者とその関係者の方へ
～がんの治療と生殖機能への影響について～」



小児がん・AYA世代
のがん・希少がん

●妊よう性温存療法についての助成制度

詳細は P.60 「熊本県がん患者妊よう性温存治療費助成事業補助金」を参照ください。

●妊よう性温存の相談をしたい方

妊よう性を温存する為に、生殖補助技術を用いて、女性では卵子あるいは卵巣組織を、男性では精子をがん治療に先立って凍結保存する、がん・生殖医療の考え方が広まりつつあります。県内においては熊本大学病院「生殖医療・がん連携センター」での相談が可能です。

相談をご希望の場合、受診している医療機関より「生殖医療・がん連携センター」へ連絡し、相談の予約をしてもらいましょう。

注）患者さんやご家族からの直接の予約はできません。

生殖医療・がん連携センター

相談受付窓口：熊本大学病院 がん相談支援センター

096-373-5676

相談方法：医師による面談

相談料金：30分まで 9,120円（税込）

延長は30分ごとに9,120円加算になります。

熊本大学病院

生殖医療・がん連携センター

詳細はホームページをご確認ください。



●妊よう性温存についてのお問い合わせ

がん診療連携拠点病院のがん相談支援センター（P.7～8）

希少がん

希少がんとは、年間の発生率が人口10万人当たり6例未満のがんのことです。患者数が少ないことから診断や治療に関する情報も少なく、自分の病気や治療法について知ることが難しい場合があります。

国立がんセンター希少がんセンターではホームページ上で、希少がんに関する情報を公開しています。また、すべての希少がんの患者さんの情報不足を解消し、最適な診断・治療が受けられるお手伝いをするために「希少がんホットライン」という電話相談窓口もあります（相談は無料ですが、通話料はかかります）。

国立がんセンター希少がんセンターホームページ

<http://www.ncc.go.jp/jp/rcc/>

希少がんホットライン

国立がん研究センター中央病院

03-3543-5601（平日 9:00～16:00）

九州大学病院 092-642-6134（平日 12:00～16:00）

希少がんの種類

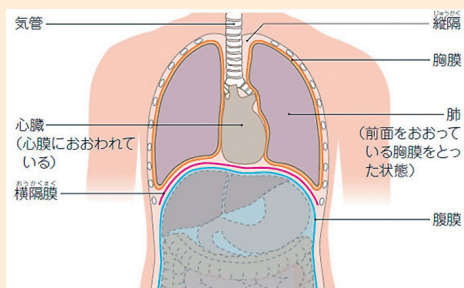
領域	がんの種類
脳・脊椎領域	脳腫瘍
眼領域	眼腫瘍
頭頸部領域	聴器がん 口腔がん 腺様嚢胞がん 嗅神経芽細胞腫 頭頸部の肉腫
乳腺領域	男性乳がん 特殊型乳がん 乳腺悪性葉状腫瘍
心臓・血管系領域	悪性心膜中皮腫 心臓の肉腫
呼吸器・縦隔領域	悪性胸膜中皮腫 胸腺腫・胸腺がん 胸部の SMARCA4欠損腫瘍 肺神経内分泌腫瘍

小児がん・AYA世
代のがん・希少がん

領 域	がんの種類
消化器領域	悪性腹膜中皮腫 肛門がん／肛門管扁平上皮がん GIST（消化管間質腫瘍） 小腸がん（十二指腸がん・空腸がん・回腸がん） 膵・消化管神経内分泌腫瘍
肝胆膵領域	膵・消化管神経内分泌腫瘍
内分泌領域	褐色細胞腫 パラガングリオーマ 副腎皮質がん
泌尿器・生殖器領域	子宮の肉腫 悪性精巣鞘膜中皮腫 膣がん 尿膜管がん 腹膜がん
後腹膜領域	後腹膜の肉腫
皮膚領域	悪性黒色腫（メラノーマ） 基底細胞がん 乳房外パジェット病 皮膚血管肉腫 皮膚がん（腫瘍） 皮膚付属器がん（汗腺がん・脂腺がん） メルケル細胞がん 有棘細胞がん
骨と軟部組織（筋肉 や脂肪）領域	後腹膜の肉腫 骨の肉腫 子宮の肉腫 心臓の肉腫 小児の肉腫 体幹の肉腫 デスマイト腫瘍 頭頸部の肉腫 軟部の肉腫 皮膚血管肉腫 肉腫（サルコーマ） 胞巣状軟部肉腫 明細胞肉腫（淡明細胞肉腫） 隆起性皮膚線維肉腫
血液・リンパ領域	悪性リンパ腫
小児領域	小児の血液・リンパのがん 小児の固形悪性 腫瘍 小児の肉腫
複数にまたがる領域	AYA 世代（思春期・若年成人）と希少がん 原発不明がん 神経内分泌がん 神経内分泌腫瘍 腺様嚢胞がん 肉腫（サルコーマ） 胚細胞腫瘍 パラガングリオーマ

【コラム3】中皮腫

肺や心臓などの胸部の臓器や胃腸・肝臓などの腹部の臓器は、胸膜、心膜、腹膜に包まれ、この薄い膜には中皮細胞が並んでいます。この中皮細胞から派生するがんを中皮腫といいます。発生する場所によって、胸膜中皮腫、心膜中皮腫、腹膜中皮腫などがあります。



※国立がん研究センターがん情報サービスホームページより引用

中皮腫は、そのほとんどがアスベスト（石綿）を吸ったことにより発生し、仕事でアスベストを扱った人だけでなく、家族やアスベスト関連の工場周辺のお住まいの方にも発生しています。アスベストを吸ってから中皮腫が発生するまでには25年～50年程度かかるとされています。

全ての中皮腫の治療には公的な補助制度があります。仕事に由来するのか、その他の理由（例：アスベストを取り扱う工場の近所に住んでいたなど）により利用できる制度が変わりますので、主治医に相談し、申請に関しては、がん相談支援センターやかかりつけ医療機関の医療ソーシャルワーカーなどにご相談ください。

【コラム4】ATL（成人T細胞白血病リンパ腫）

成人T細胞白血病リンパ腫（ATL：adult T-cell leukemia-lymphoma）は、HTLV-1というウイルス感染が原因で、白血球の中のT細胞に感染し、がん化した細胞（ATL細胞）が無制限に増殖することで発症します。世界の中でも日本の西南部（九州・沖縄地方）に多い疾患です。

多くの場合リンパ節の腫れがみられます。病変の広がりは全身性で脾臓や肝臓、肺、消化管、中枢神経系に及ぶこともあり、半数以上で皮膚に病変があります。病型は「急性型」「リンパ腫型」「慢性型」「くすぶり型」に分類され、病型によって症状が異なります。

HTLV-1ウイルスに感染しても多くの場合は発症することなく経過し、発症した場合でも感染者のごく一部で、約30～50年間の潜伏期間があります。

感染経路は、母乳による母子感染、輸血、性交による感染です。発症につながる重要な感染経路は母乳による母子感染であるため、熊本県では妊婦検診で抗HTLV-1抗体検査などの検査を行い、母子感染予防の対策が行われています。輸血による感染は、献血のときに抗HTLV-1抗体検査を行い、陽性者の血液を使用しなくなったことから感染することはなくなりました。また、性交による夫婦間の感染は、発症までの潜伏期間が長いため、夫婦間で感染した後に発症したという報告はありません。

成人T細胞白血病リンパ腫、HTLV-1ウイルスに感染についてご不明なことやご心配なことがありましたら、がん相談支援センターやお近くの保健所にご相談ください。

5 緩和ケア

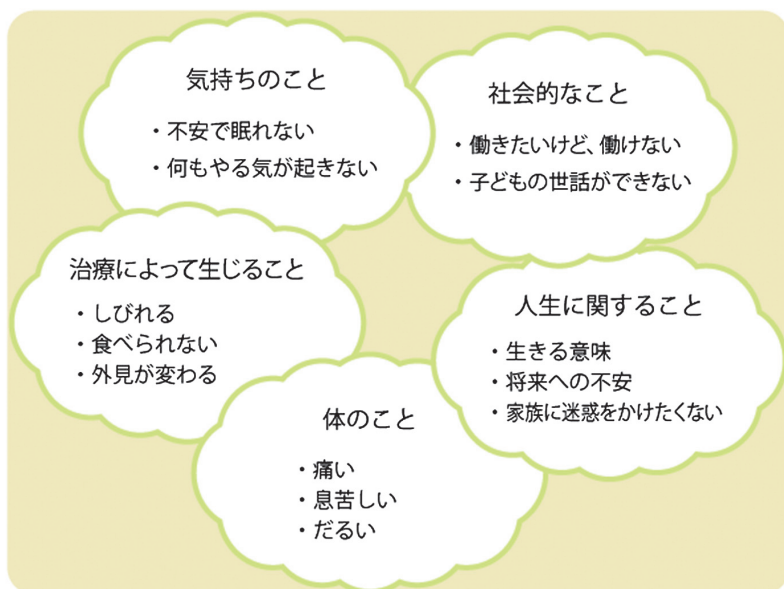
●がんと言われたときから始まる緩和ケア

緩和ケアとは、患者さんやその家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。

緩和ケアは、がんの治療ができなくなってから始めるものではありません。身体や心などのつらさが大きいと、がんの治療を続けることが難しくなります。そのため、がんと診断されたときから『つらさをやわらげる＝緩和ケア』を始めることが大切です。

また、早い段階から緩和ケアを受けた場合、生活の質（QOL）が改善され予後にも良い影響があるという調査報告もあります。

がんに伴う心と体のつらさの例



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『緩和ケア』

●自分らしい生活を続けるためにできること

① あなたのつらさに耳を傾けます

がんと診断されたときには、ひどく落ち込んだり、不安で眠れないこともあるかもしれません。治療の間には食欲がなくなったり、痛みが強いことがあるかもしれません。その不安や、つらさをお聞きし、これからのことや、その中で大切にしていきたいことを一緒に考えていきます。

② あなたが緩和ケアの中心です

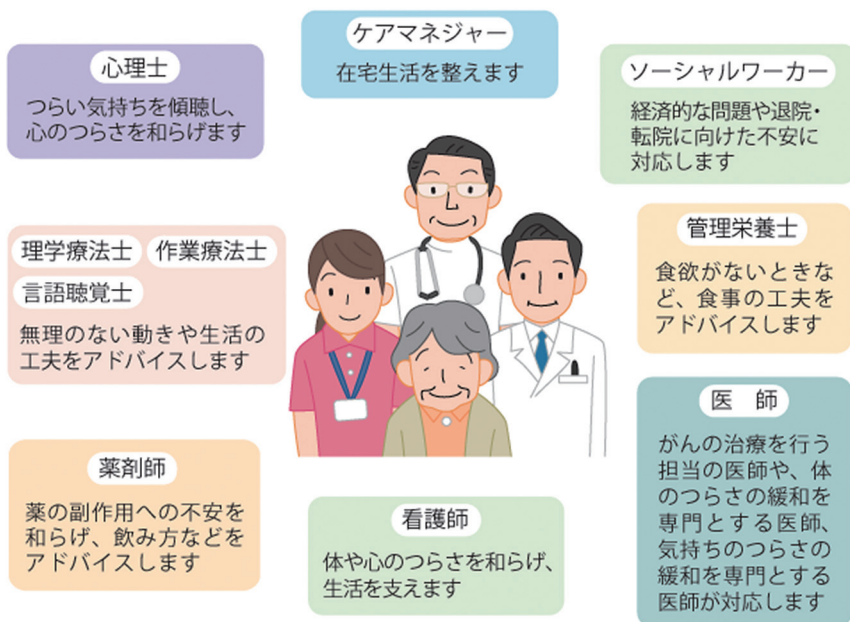
治療の主役は患者さん自身です。つらさや痛みをはじめとする身体と心の状態をご自身で把握していただくことが大切です。そして、家族や、担当の医師、看護師、薬剤師などの身近な医療者に自分の気持ちを伝え、どのような治療を受けるのか、どこで緩和ケアを受けるのかを一緒に選ぶことが大切です。そのときには、どのようにしていきたいのかという自分の気持ちを伝えましょう。体調や時期によって、この選択でよかったのだろうかと感じることがあります。そのようなときは、揺らいだ気持ちも遠慮なく伝えていきましょう。あなたの気持ちを大切にもらえるはずです。あなたが緩和ケアの中心なのです。

●緩和ケアを支えるチーム

●さまざまな専門職からなるチームが支えてくれます

さまざまな専門分野の人がチーム『緩和ケアチーム』となって患者さんご家族を支援します。

さまざまな専門職からなるチーム（緩和ケアチーム）の例



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『緩和ケア』

●緩和ケアを受ける場

- 緩和ケアを受ける場合は、
大きく①通院、②入院、③在宅療養に分けられます

がん治療を行っているときや、行っていないときでも、患者さんが一番過ごしたい場所で過ごせることは、とても大切なことと考えています。緩和ケアは、全国のがん診療連携拠点病院であればどこでも受けることができます。病院では、通院でも入院でも受けることができます。また、自宅でも受けることができます。がん診療連携拠点病院以外の病院でも受けることができる場合があります。

緩和ケアを受ける場



出典：国立がん研究センターがん情報サービス『緩和ケア』

●家族への緩和ケア

●緩和ケアは、ご本人だけではなく、 家族のつらさも和らげます

がんになると、家族も大きなショックを受けます。家族は、「本人はもっとつらいのだから」と気持ちを抑えてしまうことも少なくありません。その一方で、日常生活も維持していく必要があります。そのため、家族も心のつらさをはじめとしたさまざまな負担を抱えることから、「第二の患者」といわれることもあります。

緩和ケアは患者本人だけでなく、家族に対しても行われ、さまざまな医療者がチームを組んで支援してくれます。家族が、担当の医師や看護師、その他の医療者に自分のつらさや困りごとを相談しても構いません。

家族が自分自身の気持ちや体をいたわり、生活を大切にすることは、ご本人を支えることにもつながります。困難な状況で周囲の力を借りることは大切です。

地域のがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターでは、緩和ケアに関する情報を得ることができ、家族も無料で相談することができます。

＊『熊本県在宅緩和ケア MAP』

県内の対応医療機関を調べることができます。

熊本県在宅緩和ケアマップ 検索

URL : <http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/cmc/zkmap/data/>

●熊本市内の緩和ケア病床と緩和ケア病棟

	医療機関	病床数	相談窓口	住所	電話番号
緩和ケア病床	熊本大学病院	緊急病床 1床	緩和ケア センター	熊本市中央区本荘 1-1-1	096-373-5637
緩和ケア病棟 *	熊本地域医療 センター	14床	地域医療 連携室	熊本市中央区本荘 5-16-10	096-363-3311
	くまもと在宅 支援病院	18床	地域連携室	熊本市東区三郎 1-12-25	096-383-5555
	鶴田病院	20床	地域連携・相 談支援センター	熊本市東区保田窪 本町10-112	096-285-6755
	イエズスの 聖心病院	37床	地域連携室	熊本市西区上熊本 2-11-24	096-352-7181
	朝日野総合病院	25床	地域医療 連携室	熊本市北区室園町 12-10	096-344-3000
	御幸病院	20床	地域医療 連携室	熊本市南区御幸笛田 6-7-40	096-378-1166
	桜十字病院	25床	地域連携室	熊本市南区御幸木部 1-1-1	096-378-1120
	くまもと森都 総合病院	15床	地域医療 連携室	熊本市中央区大江 3-2-65	096-364-6021
	大腸肛門病センター 高野病院	20床	がん相談支 援センター	熊本市中央区大江 3-2-55	096-320-6500
	熊本第一病院	19床	地域連携室	熊本市南区田迎町 田井島224	096-370-7333
	人吉医療センター	30床	相談支援 センター	人吉市老神町35	0966-22-2191
	阿蘇温泉病院	14床	医療福祉 相談室	阿蘇市内牧1153-1	0967-32-0881
	山鹿市民 医療センター	13床	地域医療 連携室	山鹿市山鹿511	0968-44-2185
	合志第一病院	27床	地域連携室	合志市御代志812-2	096-242-2745
	熊本南病院	16床	地域医療 連携室	宇城市松橋町豊福 2338	0964-32-0826

＊緩和ケア病棟は『緩和ケア病棟入院料の施設基準』を満たした病棟です

6 在宅療養支援

医療は受ける場所によって ①外来診療 ②入院医療 ③在宅医療の3つに分かれます。

●在宅医療

在宅医療の大きなメリットは、住み慣れた自宅や地域で安心して自分らしい生活を送りながら医療を受けられることです。

がんの在宅医療は、訪問診療と往診、訪問看護の組み合わせによって、かなりの領域の対応ができます。また、がん医療は、外科療法・放射線療法・化学療法・緩和ケアに大別できますが、在宅医療の場合には、専門的かつ本格的な疼痛管理や緩和ケアが受けられます。痛みのある場合には、在宅で医療用麻薬（モルヒネ等）や鎮痛剤を使用した鎮痛療法も行われます。在宅で医療用麻薬を使用している方に対しては、薬剤師が訪問し、その服薬や保管の状況を確認し、指導していきます。

病状次第では、40歳以上であれば介護保険制度も活用でき、医療と介護が連携して在宅での療養生活を支える仕組みがあります。地域によって体制が異なる場合がありますので、下記の相談窓口へご相談ください。

※40歳未満の方は P.59 「熊本県がん患者 QOL 向上事業」を参照ください。

●相談窓口

かかりつけ医療機関の地域医療連携室、がん相談支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、市町村

【コラム5】訪問診療と往診

訪問診療とは、あらかじめ医師が診療計画を立て、患者さんの同意を得て定期的に自宅等を訪問し、診療を行います。

往診とは、突発的な病状の変化などに対して医師が患者さんの求めに応じ、自宅等を訪問し診療を行うことをいいます。

【コラム6】医療用麻薬について

医療用麻薬は大麻や覚せい剤などとは全く別のものです。医療用麻薬は痛みがある状態で医師の管理のもとで適切に使う限り中毒になることはありません。

また、長期間使用しても効果がなくなることはなく、余命に影響がないことも確認されています。主な副作用（便秘、吐き気、眠気）は対処可能です。

●薬の形

・飲み薬（錠剤・カプセル・散剤・水剤）・舌下錠・バツカル錠（口腔内で溶ける薬）・貼り薬・坐薬・注射剤

●在宅療養を支援する施設や職種

【地域包括支援センター】

在宅療養に関するさまざまな制度の利用や福祉の相談に応じます。

【がん相談支援センター】

あなたの治療と療養におけるさまざまな相談に応じます。

【市区町村の窓口】

役所の窓口で、医療や介護における、さまざまな助成制度などの申請や相談に応じます。

●担当医（病院）

治療や体の状態のことで、何か異変などがあったときに対応します。

●訪問看護師

症状を緩和するためのケアをご自宅で行います。患者さん・ご家族にじっくりと関わり、療養生活を支えます。

●在宅医（在宅療養支援診療所）

定期的に訪問診療し、緊急時などに対応します。また専門的な治療を行った病院の担当医と連携し、必要に応じて再入院の調整などもします。

●理学療法士・作業療法士

日常生活を送る上での基本的な動作の回復や機能の低下の予防をはかります。

●薬剤師

薬の説明をしたり、使用法・副作用に関する相談に対応します。

●ホームヘルパー

訪問して、日常生活の介護や買い物、掃除などの家事の援助を行います。

●歯科医・歯科衛生士

歯や、口のケアなどの相談に応じます。

●ケアマネジャー

在宅療養でどんな支援を受けられるか、一緒に考えて計画を立てます。（介護保険の対象者のみ）

●介護保険

在宅の療養時には、介護が必要になったり、ベッドや車いすなどの福祉用具が必要になることがあります。病気や加齢などで介護を必要とする状態となっても尊厳を保持し、できる限り自立した日常生活を過ごしていただけるよう必要なサービスを提供する制度です。

●対象者

65歳以上の方

介護が必要となった原因を問わず、給付対象です。

40歳～65歳未満の方

16の特定疾病に該当し、介護を必要とする場合です。

＊がんと診断された患者さんは状態により介護保険の利用が可能です。

●サービスの利用料

ケアプランに基づいて介護（介護予防）サービスを利用した場合、原則としてサービス費用の1割～3割が利用者負担になります。

●相談窓口

お住まいの自治体の介護保険担当課、地域包括支援センター、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関の医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等

●障害者総合支援法

身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病等の障がいの種別にかかわらず、一元的に提供されるサービスです。がんの治療により、身体障害者手帳の交付対象となる場合があります。

身体障害者手帳の交付対象疾患例

疾 患	状 態
頭頸部がん (鼻、口、のど、あご、 耳などの部分にできる がん)	喉頭部摘出により声を出すことができなくなった場合、腫瘍切除等による顎、口腔、咽頭喉頭の欠損により経口摂取ができない場合など
肺がん	呼吸機能が低下し、在宅酸素療法が必要となった場合など
直腸がん等	人工肛門（ストーマ）を造設された場合など
膀胱がん 腎臓がん等	回腸導管造設術などストーマ造設された場合など
骨肉腫	四肢の切断を行った場合など

※身体障害者手帳の交付申請手順については P.72 をご参照下さい

市町村によっては、障がい者等の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付または貸与する制度があります。

詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。

●相談窓口

がん相談支援センター、かかりつけ医療機関の医療ソーシャルワーカー、お住まいの自治体の障がい福祉担当課

●自治体の任意事業

介護保険や障害者総合支援法によるサービスの利用は年齢や身体の状態、疾患等により制限があります。

自治体によっては家事援助事業や緊急通報システム等の提供を任意で取り組んでいる自治体があります。実施している事業内容は各自治体によって異なりますので、詳しくはお住まいの各自治体へお問い合わせください。

●地域包括支援センター

各市町村には地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助などを行い、高齢者の保健医療の向上と福祉の増進を総合的に支援することを目的に地域包括支援センターが設置されています。

詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

●ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターとは保育所・幼稚園などの送迎や、保護者が病気や自分の都合などでお子さんの育児ができないときに育児の支援を行う「提供会員」と育児の支援を受けたい「依頼会員」で構成し、子育てを地域で相互援助する会員制の活動です。

治療や受診の際に利用できる可能性があります。

事前登録が必要となりますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。

●ひとり親家庭等の日常生活支援事業

ひとり親家庭等の方々が、一時的な用件で子育て等ができない時に、家庭生活支援員を派遣し、家事、子育てのお手伝いを受けることができる事業です。

詳しくは、お住まいの各市町村にお問い合わせください。



7

がんの治療や生活を支える制度

●熊本県の補助事業

熊本県がん患者 QOL 向上事業

熊本県では、がん患者の生活の質の向上を目的として、治療に伴う外見の変化による精神的負担を和らげるために使用する医療用ウィッグや乳房補整具等といった、アピアランスケア（P.34参照）用品の購入費用や、若年がん患者の在宅療養に要する費用の一部を助成する「がん患者 QOL 向上事業」を実施しています。

※市町村によって助成制度の有無、その内容や必要書類が異なります。

詳細は、直接お住まいの市町村へご相談ください。

令和7年4月時点で実施している市町村は下表のとおりです。

アピアランスケア支援

市町村	担当課	市町村	担当課
熊本市	医療対策課	玉東町	保健こども課
八代市	健康推進課	和水町	保健子ども課
人吉市	保健センター	南関町	健康推進課
荒尾市	すこやか未来課	長洲町	福祉保健介護課
水俣市	いきいき健康課	大津町	健康保険課
玉名市	保健予防課	菊陽町	健康・保険課
山鹿市	健康増進課	南小国町	町民課
菊池市	健康推進課	小国町	福祉課
宇土市	健康づくり課	高森町	健康推進課
上天草市	健康づくり推進課	南阿蘇村	健康推進課
宇城市	健康づくり推進課	西原村	保健衛生課
阿蘇市	健康増進課	御船町	健康づくり保険課
合志市	健康ほけん課	嘉島町	町民保険課
天草市	健康増進課	益城町	健康保険課
美里町	健康保険課	甲佐町	健康推進課

市町村	担当課	市町村	担当課
山都町	健康ほけん課	あさぎり町	健康推進課
氷川町	町民課	湯前町	保健福祉課
津奈木町	ほけん福祉課	苓北町	福祉保健課
多良木町	住民ほけん課		

若年がん患者在宅療養生活支援

市町村	担当課	市町村	担当課
熊本市	医療対策課	南関町	健康推進課
玉名市	保健予防課	長洲町	福祉保健介護課
山鹿市	健康増進課	大津町	健康保険課
宇土市	健康づくり課	南阿蘇村	健康推進課
宇城市	健康づくり推進課	御船町	健康づくり保険課
天草市	健康増進課	益城町	健康保険課
玉東町	保健こども課	甲佐町	健康推進課
和水町	保健子ども課	湯前町	保健福祉課

熊本県がん患者妊よう性温存治療費助成事業補助金

熊本県では将来子どもを産み育てることを望む小児・ＡＹＡ世代のがん患者等が希望を持ってがん治療等に取り組めるように、将来子どもを授かる可能性を温存するための妊よう性温存療法及び妊よう性温存療法により凍結した検体を用いた生殖補助医療等（以下「温存後生殖補助医療」という。）に要した費用の一部を助成しています。

※ＡＹＡ世代とは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、主に、思春期（１５歳～）から３０歳代までの世代を指しています。

● 助成の対象となる方

指定の要件を満たす方が対象となります。詳しくは熊本県ホームページでご確認ください。

● 助成対象となる費用

妊よう性温存療法及び温存後生殖補助医療に要した医療保険適用外費用です。入院室料（差額ベット代等）、食事療養費、文書料等の治療に直接関係のない費用及び凍結保存の維持に係る費用は対象外です。

● 助成対象治療及び助成上限額

妊よう性温存療法

対象となる治療	1回あたりの助成上限額
胚（受精卵）凍結に係る費用	35万円
未受精卵子凍結に係る費用	20万円
卵巢組織凍結に係る治療 （組織の再移植を含む）	40万円
精子凍結に係る治療	2万5千円
精巣内精子採取術による精子凍結に係る治療	35万円

助成回数は、対象者1人に対して通算2回までです。異なる治療を受けた場合であっても通算2回までとなります。

温存後生殖補助医療

対象となる治療	1回あたりの助成上限額
凍結した胚（受精卵）を用いた生殖補助医療	10万円
凍結した未受精卵子を用いた生殖補助医療	25万円 ※1
凍結した卵巢組織再移植後の生殖補助医療	30万円 ※1～4
凍結した精子を用いた生殖補助医療（精巣内精子採取術によるものも含む）	30万円 ※1～4

- ※1 以前に凍結した胚を解凍した胚移植を実施する場合は10万円
- ※2 人工授精を実施する場合は1万円
- ※3 採卵したが卵が得られない又は状態の良い卵が得られないため中止した場合は10万円
- ※4 卵胞が発育しない、又は排卵終了のため中止した場合及び排卵準備中、体調不良等により治療中止した場合は対象外

治療期間の初日における妻の年齢が40歳未満である場合、通算6回まで（40歳以上であるときは、通算3回まで）

ただし、次に該当する場合、これまでの助成回数はリセットされます。

- ・助成を受けた後で、出産したとき
- ・妊娠12週以降に死産に至ったとき

指定医療機関一覧

県内の指定医療機関は下表のとおりです。

医療機関名	所在地	連絡先	妊よう性 温存療法	温存後生殖 補助医療
社会医療法人愛育会 ソフィアレディース クリニック水道町	熊本市中央区 水道町9-5-1	096-322-2996	○	○
医療法人聖命愛会 ART 女性クリニック	熊本市東区 神水本町25-18	096-360-3670	○	○
熊本大学病院	熊本市中央区 本荘1-1-1	096-344-2111	○	○
社会医療法人愛育会 福田病院	熊本市中央区 新町2丁目2-6	096-322-2995	○	○
医療法人社団杏風会 川野病院	熊本市中央区 大江6丁目25-1	096-366-3275	○	—

当事業の詳細、申請に必要な書類は、以下の URL 又は 2 次元コードから熊本県ホームページをご覧ください。

「熊本県がん患者妊よう性温存治療費助成事業補助金について」

URL : <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/44/85363.html>



問い合わせ先：熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課

がん対策・歯科保健推進班

TEL 096-333-2208

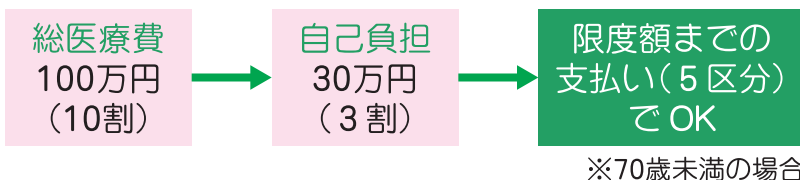
●医療費の負担を軽くする制度

日本では、公的医療保険制度があり、保険と年齢に応じて診療費の自己負担は1割～3割となっています。

保険種類	対象者	相談窓口
組合管掌健康保険	健康保険組合に設立した会社に所属する社員及びその扶養家族	各健康保険組合
全国健康保険協会管掌健康保険協会	健康保険組合を設立していない会社に所属する社員及びその扶養家族	全国健康保険協会熊本支部 熊本市中央区辛島町5-1 日本生命熊本ビル10階 TEL：096-240-1030
船員保険	船舶所有者に使用される船員及びその扶養家族	全国健康保険協会船員保険部 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング14階 TEL：03-6862-3060
共済組合	公務員、独立行政法人職員、日本郵政株式会社等職員、私立学校職員、及びその扶養家族	各共済組合
国民健康保険	農業漁業者・自営業者・自由業者・職場の健康保険に加入していない方	市町村の国民健康保険担当課
後期高齢者医療制度	75歳以上の方、65歳以上75歳未満で一定の障がいがある方	市町村の後期高齢者医療制度担当窓口

高額療養費制度

入院・手術・抗がん剤治療などで高額な医療費がかかりそうなときは、治療を受ける前に、加入している公的医療保険で「限度額適用認定証」をもらい、病院に提出すると支払い額を限度額までに抑えることができます。限度額適用認定証をもらわずに治療を受けた場合には、医療機関から請求される医療費を一度支払った後、保険者に申請することで自己負担限度額を超えた分が支給されます。



※令和3年10月から、医療機関や薬局等の窓口において、マイナンバーカードや健康保険証を利用し、オンラインでの資格確認が開始されました。これに伴い、マイナンバーカードや健康保険証が「限度額適用認定証」や「限度額適用・標準負担額減額認定証」としても利用できます。

70歳未満の場合

区分	所得状況	月単位の上限額	12ヶ月の間で 4回目の月以降
ア	年収約1,160万円以上 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円＋ (医療費－842,000円)×1%	140,100円
イ	年収約770～1,160万円 健保：標準報酬月額53～79万円 国保：旧ただし書き所得600～901万円	167,400円＋ (医療費－558,000円)×1%	93,000円
ウ	年収約370～770万円 健保：標準報酬月額28～50万円 国保：旧ただし書き所得210～600万円	80,100円＋ (医療費－267,000円)×1%	44,400円
エ	年収約370万円以下 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円	44,400円
オ	低所得（住民税非課税）	35,400円	24,600円

高齢受給者（70歳～74歳）・後期高齢者（75歳以上）

区 分		外来＋入院（世帯）		多数回 ※ 1	1食あたりの 標準負担額
		外来（個人ごと）			
現役並み所得	Ⅲ 年収約1,160万円～	252,600円＋ [医療費－842,000円]×1%		140,100円	510円
	Ⅱ 年収約770万～1,160万円	167,400円＋ [医療費－558,000円]×1%		93,000円	510円
	Ⅰ 年収約370万～770万円	80,100円＋ [医療費－267,000円]×1%		44,400円	510円
一般	年収約156万～370万円	18,000円 (年間上限 14万4,000円)	57,600円	44,400円	510円
低所得	Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円		240円 ※ 2
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)		15,000円		110円

現役並み所得Ⅰ・Ⅱ、低所得Ⅰ・Ⅱの方は**限度額適用認定証**の申請対象です。

※ 1 過去12ヶ月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。

※ 2 過去12ヶ月以内に91日以上入院となる場合は、申請することで240円から190円に減額となります。

※令和8年4月現在の内容を掲載しています。詳細はがん相談支援センターにお問い合わせください。

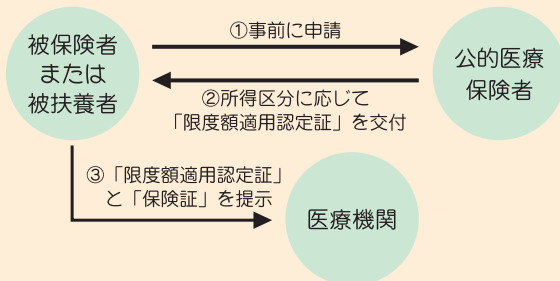
【コラム7】 限度額適用認定証を申請しましょう

70歳未満の方、70歳以上の現役並み所得Ⅰ・Ⅱ、低所得Ⅰ・Ⅱの方は、限度額適用認定証を申請することで、医療費の窓口負担を限度額までに抑えることができます。入院・外来で高額な医療費がかかりそうなときは、事前に申請しましょう。

加入中の医療保険が申請窓口となります。

ただし、マイナ保険証を利用できる医療機関でマイナ保険証を提示した場合、自己負担限度額に関する情報の提供に同意することでこの申請は不要になります。

限度額適用認定証申請の流れ



● 高額療養費制度のポイント（70歳未満の方の場合）

- ・ 限度額適用認定証は申請した日の月初めの1日から有効です
- ・ 1日～月末の月ごとの計算です（食事や部屋代などは含みません）
- ・ 同じ医療機関ごとで計算します
- ・ 同じ病院でもひと月に外来通院と入院があった場合は別々に計算します
- ・ 違う医療機関でも同じ月に21,000円以上の診療費を2件以上支払った場合、それらを合算して自己負担限度額を超えた分が、申請によりあとから支給されます

※一部の市町村では、経済的な理由等がある方で、同じ月内に医療機関や調剤薬局で自己負担限度額に達した場合、限度額を超えた分について支払いを委任できることがあります。詳しくは、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

高額介護・高額介護予防サービス費

介護費の月々の自己負担が過重なものとならないよう、介護費の月々の自己負担に一定の上限を設ける仕組みです。最終的な自己負担額となる毎月の負担の上限額は利用者の所得水準によって定められており、それを超えた金額が支給されます。

所得段階	所得	区分上限額
第1段階	①生活保護の被保護者 ②15,000円への減額により生活保護の被保護者とならない場合 ③市町村民税非課税の老人福祉年金受給者	①個人15,000円 ②世帯15,000円 ③世帯24,600円 個人15,000円
第2段階	市町村民税世帯非課税で（公的年金収入金額＋合計所得金額）が80万円以下	世帯24,600円 個人15,000円
第3段階	市町村民税世帯非課税 24,600円への減額により生活保護の被保護者とならない場合	世帯24,600円
第4段階	①市区町村民税課税世帯～課税所得380万円（年収約770万円）未満 ②課税所得380万円（年収約770万円）～690万円（年収約1,160万円）未満 ③課税所得690万円（年収約1,160万円）以上	①44,400円（世帯） ②93,000円（世帯） ③140,100円（世帯）

なお、支給対象となる自己負担額には①福祉用具購入費及び住宅改修費の定率負担、②区分支給限度基準額を超えて利用した分、③食費、居住費（滞在費）、日常生活費を含みません。

自治体ごとに異なりますが、一般的には、市町村の介護保険担当において、高額介護サービス費が算定された対象者に申請書を郵送し、初回申請がなされれば二回目以降は申請手続不要とする等の配慮がなされています。

令和8年4月現在の内容を記載しています。詳細はがん相談支援センターにお問い合わせください。

高額介護合算療養費制度

世帯内の同一の医療保険加入者の場合、医療の「高額療養費制度」と介護の「高額介護・高額介護予防サービス費」の両方を利用した方で、2つを合わせた総額が、毎年8月1日からの一年間で一定額（下記表を参考）を超えた場合、申請によりあとから支給されます。



所得状況		75歳以上	70～74歳	70歳未満
		介護保険＋ 後期高齢者医療	介護保険＋ 被用者保険 または国民健康保険	
年収約1,160万円		212万円		
年収約770～約1,160万円		141万円		
年収約370～約770万円		67万円		
～年収約370万円		56万円		60万円
市町村民税世帯非課税等		31万円		34万円
市町村民税世帯非課税 かつ年金収入80.9万 円以下等	本人のみ	19万円		
	介護利用者が複数	31万円		

※令和8年4月現在の内容を記載しています。詳細はがん相談支援センターにお問い合わせください。

高額療養費貸付制度

高額療養費貸付制度は、窓口で事前に請求額を支払うのが困難な人に対し、高額療養費として償還される金額の一部を無利子で貸付を受けることができる制度です。1ヶ月の医療費の自己負担限度を差し引いた額について8割～10割が貸付額となります。

全国健康保険協会：償還される金額の8割

国民健康保険：償還される金額の9割

※ご加入の医療保険によっては利用ができないものがあります。詳しくはご加入の医療保険の窓口、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

無料低額診療事業

低所得者、要保護者、ホームレス、DV被害者、人身取引被害者などの生計困難者が対象で、特定の医療機関が無料又は低額な料金によって診療を行う事業です。詳しくは、市町村、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

確定申告による医療費等の控除

1月1日～12月31日までの1年間に一定以上の医療費や介護費用などの自己負担があった場合には、税金が軽減されます。一定の収入がある人が対象となります。詳しくは、税務署、がん相談支援センター（P.7～8）へお問い合わせください。

〈対象となる費用〉

- ・医師や歯科医師による診療費
- ・駐車場代やガソリン代などを除く、通院にかかった交通費
- ・必要性のあった入院時の部屋代や食事代
- ・医療器具の購入やレンタルの費用
- ・おむつ代（医師の証明が必要）
- ・治療目的でのマッサージなどの施術代
- ・お薬代（市販薬も含む）

レシートや領収書で手続きできます

高額療養費制度では対象とならないものも該当します

その他の制度

制度名	指定難病 医療費助成制度	窓口	熊本県健康づくり推進課、 県保健所、熊本市各区役所 福祉課
「難病の患者に対する医療等に関する法律」（平成26年法律第50号）に基づき指定される指定難病について、治療方法の確立等に資するため、難病患者データの収集を効率的に行い治療研究を推進することに加え、効果的な治療方法が確立されるまでの間、長期の療養による医療費の経済的な負担が大きい患者を支援する制度です			
制度名	小児慢性特定疾病 医療費助成制度	窓口	県保健所、熊本市各区役所 保健こども課
子どもの慢性疾患のうち、小児がんなど特定の疾患が対象となります 児童の健全育成を目的として、疾患の治療方法の確立と普及、患者家庭の医療費の負担軽減につながるよう、医療費の一部を助成する制度です。			
制度名	自立支援医療制度 （育成医療・更生医療）	窓口	市町村担当課
心身の障がい除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度です			
制度名	ひとり親家庭等 医療費助成制度	窓口	市町村担当課
ひとり親家庭等の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的とし、ひとり親家庭等の医療費の一部を助成する制度です			
制度名	重度心身障がい者 医療費助成制度	窓口	市町村担当課
重度の障がいをお持ちの方に対して入院や通院、調剤等がかかった医療費を助成することで、本人の生活の安定と福祉の充実を図ることを目的とした制度です			

制度名	水俣病総合対策医療事業に係る療養費支給の制度	窓口	熊本県水俣病保健課
水俣病被害者手帳や医療手帳をお持ちの方が医療機関で療養（注１）を受けられた際の費用のうち医療保険適用分の自己負担分、及び介護事業所で介護サービスを受けられた際の介護サービス費用（注２）のうち介護保険適用分の自己負担分を公費負担する制度です （注１）□腔外科を含む歯科、第三者行為による交通事故・労災などを除く 入院時食事療養費及び入院時生活療養費については、標準負担額までを公費負担 （注２）当事業が対象としている医療系サービスに限る			
制度名	原子爆弾被爆者対策	窓口	熊本県健康づくり推進課、県保健所
ア）被爆者健康手帳 昭和20年8月被爆時に一定の地域にいた者、原爆投下後2週間以内に入市した者、被爆者の救護等を行った者及びそれらの者の胎児については、被爆者健康手帳交付の対象となります 交付を受けることで、被爆者であることが証明され、一般疾病についての医療費自己負担分を国が負担するほか、健康診断を受診することができるなど、各種施策の対象となります イ）原爆症認定 原子爆弾による放射線が原因となって起こった病気やけがについて医療をうける必要があるときには、認定疾病についての医療費全額を国が負担します			

がん相談支援センターでは、上記制度のご相談を受け付けております

● 肝がん・重度肝硬変の治療を受けている方へ

熊本県では、B型・C型肝炎ウイルスによる肝がんや重度肝硬変について対象医療（入院や特定の外来）に係る費用の一部を助成する制度があります。

お問い合わせは、

熊本県健康福祉部 健康危機管理課 096-333-2783

●生活や暮らしを支える制度

身体障害者手帳

身体障害者手帳は、病気の発症や手術などの治療で、身体に障がいが残った場合に申請することができます。利用できる助成・支援には、補装具や日常生活用具などの支給、税金の減額免除、公共交通機関運賃の免除・割引などがあります。

申請時期は、障がいの状態が固定してからの申請となりますが、障がいの内容によってはすぐに申請が可能なものもあります。申請をされる際には、身体障害者福祉法に定められた指定医に、診断書を作成してもらう必要があります。



●身体障害者手帳の交付申請手続きの流れ

①医療機関で対象者であるかどうかを尋ねます



②市町村福祉課（医療機関においてあることもあります）で身体障害者手帳交付申請書及び診断書を貰います



③医療機関の指定医に診断書作成を依頼します



④申請書・診断書・印鑑・写真を用意して、住所地の市町村の窓口へ申請します

詳しくは、福祉事務所、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関へお問い合わせください。

〈参考資料〉

障がい福祉のしおり（熊本県）

障がい福祉のしおり

検索

身体障がい者のためのふくしのしおり（熊本市）

身体障がい者のためのふくしのしおり

検索



傷病手当金

傷病手当金は、被用者保険（健康保険、共済、船員保険）独自のもので、病気休業中に被保険者とその家族の生活を保障するために設けられた制度です。

被保険者が病気やケガのために会社を休み、事業主から十分な報酬が受けることができない場合に、ある程度の収入を保障しています。支給開始から通算して最長1年6ヶ月まで支給されます。

次の(1)から(4)の条件をすべて満たしたときに支給されます。

- (1) 業務外の事由による病気やケガの療養のための休業であること
- (2) 仕事に就くことができないこと
- (3) 連続する3日間を含み4日以上仕事に就けなかったこと
- (4) 休業した期間について給与の支払いがないこと、または給与の日額が傷病手当金の日額より少ないこと

● 傷病手当金の申請手続きの流れ

①各加入中の保険者又は勤務先の事務担当に傷病手当金申請書を請求します



②医療機関と事業主に申請書の証明を依頼します



③申請書・出勤簿のコピー・賃金台帳のコピーを用意して保険者へ申請します

詳しくは、保険者又は勤務先事務担当、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関へお問い合わせください。



障害年金

障害年金は、病気の発症や手術などの治療で身体に障がいが残った方が、早い時期から年金を受給するための制度です。65歳未満で、日常生活に支障が生じたり、仕事に著しい制限を受ける状態になった方が受給対象です。ご加入の年金保険によって等級の違いがあり、障害基礎年金は、障害等級1、2級、障害厚生年金（旧共済年金を含む）は1～3級までとなっています。また、厚生年金（旧共済年金を含む）には、障害年金の対象とならない軽度の障がいを負った方に一度だけ支給される、障害手当金もあります。

● 障害年金の申請手続きの流れ

①市町村年金担当課又は管轄の年金事務所へ資格要件を確認します

対象者である場合は、障害年金申請用の診断書を渡されます



②医療機関に診断書作成を依頼します



③診断書・必要書類を添付して、住所地の市町村の窓口もしくは年金事務所へ申請します

加入していた年金の種類によって窓口が異なります

詳しくは、市町村年金担当課、管轄の年金事務所、がん相談支援センター、かかりつけ医療機関へお問い合わせください。



生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金貸付制度は、低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。都道府県社会福祉協議会を実施主体として、県内の市町村社会福祉協議会が窓口となって実施しています。

生活福祉資金の借入を希望される場合は、お住まいの市町村社会福祉協議会にご相談いただき、申し込むことができます。

生活保護制度

生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的とした制度です。生活保護は世帯単位で行い、世帯員全員が、その利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、その最低限度の生活の維持のために活用することが前提であり、扶養義務者の扶養は、生活保護法による保護に優先します。

生活保護のご相談・申請窓口は、現在お住まいの地域を所管する福祉事務所の生活保護担当です。



●がんと診断されたら就労相談

がんと診断されても、 すぐに仕事を辞めないで！



仕事と治療を両立している患者さんはたくさんいます！

がんの診断時に働いていた方の約70%は、同じ職場に復帰しています。
働くことは生活や治療継続のためだけではなく、
生き甲斐や生活の質の維持にもつながります。
仕事を辞めると決めてしまう前に、一度立ち止まって考えてみませんか。

出典：熊本県・がん患者等就労支援ネットワーク

第4期がん対策推進基本計画では、がん患者さんの離職防止や再就職のための就労支援を充実させていくことが必要とされ、がん相談支援センターと社会保険労務士・ハローワークなどが連携して就労支援を行う取組みが進められています。がん患者さんに特化した就職制度や休職制度はありませんが、それぞれの職場で就業規則が定められていますので、職場の就業規則を確認しましょう。

●治療のスケジュールや内容を理解しておきましょう

がんの部位や治療内容により、副作用や就労にもたらす影響も異なります。まずは主治医やがん相談支援センターにご相談ください。

就労支援に関わる相談機関

● がん相談支援センター

熊本県内のがん相談支援センターの一覧表は P.7～8 をご覧ください。

● 医療機関における就労相談窓口

施設名	日時	対象者	対応者	問い合わせ先
熊本労災病院	平日 8:15～17:00	どなたでも	両立支援コーディネーター	熊本労災病院 治療就労両立支援部 0965-33-4151
水俣市立総合医療センター	平日 8:30～17:00 (12:00～13:00除く)	どなたでも	両立支援コーディネーター	水俣市立総合医療センター 治療と仕事の両立支援室 0966-63-2101
国立病院機構 熊本医療センター	毎月第3木曜日 13:00～15:00	当院の患者 さんで長期 療養中の方	※1 熊本産業保健 総合支援センター (予約不要) ※2 ハローワーク 熊本就職支援ナビ ゲーター (完全予約制)	国立病院機構熊本医療セ ンター相談支援センター 096-353-6501
熊本大学病院	毎月第2・4水曜 日13:00～16:00 (予約制) 不定期 (予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	※2 ハローワーク 熊本就職支援ナビ ゲーター ※1 熊本産業保健 総合支援センター	熊本大学病院がん相談支 援センター 096-373-5676
大腸肛門病センター 高野病院	毎月第3火曜日 10:00～12:00 (原則予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	※2 ハローワーク 熊本就職支援ナビ ゲーター	大腸肛門病センター高野 病院がん相談支援センター 096-320-6500
熊本赤十字病院	毎月第3水曜日 11:00～15:00 (予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	※2 ハローワーク 熊本就職支援ナビ ゲーター	熊本赤十字病院患者サポ ートセンター 096-384-2111
阿蘇医療センター	平日 9:00～17:00	当院の患者 さんで長期 療養中の方	両立支援コーディネーター	阿蘇医療センター 0967-34-0311 (代表)
済生会熊本病院	第4木曜日 13:00～15:00 (予約制) 不定期 (予約制)	当院の患者 さんで長期 療養中の方	※2 ハローワーク 熊本就職支援ナビ ゲーター ※1 熊本産業保健 総合支援センター	済生会熊本病院 がん相談支援センター 096-241-0275

※1 熊本産業保健総合支援センター 096-353-5480

※2 ハローワーク熊本就職支援ナビゲーター 096-371-8262

●ハローワーク（公共職業安定所）

安定所	所在地	電話番号	管轄地域
熊本公共職業安定所	熊本市中央区大江 6-1-38	096-371-8609	熊本市（北区植木町・南区城南町・南区富合町を除く）
上益城公共職業安定所（出張所）	上益城郡御船町辺田見 395	096-282-0077	上益城郡、阿蘇郡西原村
八代公共職業安定所	八代市清水町1-34	0965-31-8609	八代市、八代郡
菊池公共職業安定所	菊池市隈府771-1	0968-24-8609	菊池市、山鹿市、合志市、菊池郡、熊本市のうち北区植木町
玉名公共職業安定所	玉名市中1334-2	0968-72-8609	玉名市、荒尾市、玉名郡
天草公共職業安定所	天草市丸尾町16-48	0969-22-8609	天草市、上天草市、天草郡
球磨公共職業安定所	人吉市下薩摩瀬町 1602-1	0966-24-8609	人吉市、球磨郡
宇城公共職業安定所	宇城市松橋町松橋266	0964-32-8609	宇土市、宇城市、下益城郡、熊本市のうち南区城南町・南区富合町
阿蘇公共職業安定所	阿蘇市一の宮町宮地 2318-3	0967-22-8609	阿蘇市、阿蘇郡（西原村を除く）
水俣公共職業安定所	水俣市八幡町3-2-1	0966-62-8609	水俣市、葦北郡

相談室名	所在地	電話番号
山鹿市地域職業相談室	山鹿市山鹿1026-3 熊本県鹿本総合庁舎1階	0968-43-1724
荒尾市地域職業相談室	荒尾市宮内出目390 荒尾市役所内	0968-63-1689
宇土市地域職業相談室	宇土市浦田町51 宇土市役所別館2階	0964-26-1003
上天草ふるさとハローワーク	上天草市大矢野町上1514 上天草市役所大矢野庁舎1階	0964-57-4510

● 熊本産業保健総合支援センター・各地域産業保健センター

(1) 熊本産業保健総合支援センター

産業保健に関する相談対応や専門研修を実施するほか、メンタルヘルス対策についての個別訪問による教育や相談、がん等の病気になっても労働者が安心して治療を受けながら働き続けられる職場づくりを支援しています。

センター名	所在地	電話番号
熊本産業保健総合支援センター	熊本市中央区花畑町9-24 住友生命熊本ビル3階	096-353-5480

(2) 各地域産業保健センター

小規模の事業所で働く労働者に対する産業保健サービスを無料で提供するために県内7カ所で設置されています。メンタルヘルスを含む労働者の健康相談、健康診断結果についての医師からの意見聴取、産業保健に関する情報提供を行っています。

センター名	所在地	電話番号
熊本地域 産業保健センター	熊本市中央区本荘5-15-12 (熊本市医師会ヘルスケアセンター内)	096-366-6788
八代水俣地域 産業保健センター	八代市平山新町字中町4438-5 (八代市医師会健診検査センター内)	0965-39-9531
有明地域 産業保健センター	荒尾市宮内1092-18 (荒尾市医師会内)	0968-72-3050
人吉球磨地域 産業保健センター	人吉市南泉田町72-2 (人吉市医師会内)	0966-22-3059
天草地域 産業保健センター	天草市亀場町大字食場1181-1 (天草地域健診センター内)	0969-25-1236
菊池鹿本地域 産業保健センター	菊池市大琳寺75-3 (菊池郡市医師会立病院内)	0968-23-1210
阿蘇地域 産業保健センター	阿蘇市黒川1178 (阿蘇郡市医師会内)	0967-34-1177

● 熊本県社会保険労務士会

熊本県社会保険労務士会には、労働問題全般の相談窓口として総合労働相談所が設置されており、労働者や経営者が無料で相談することができます。また、各地で無料相談が開催されており、派遣された社会保険労務士が相談を担当しています。社会保険労務士は、労働問題や年金問題などの社会保険の専門家として位置付けられています。

総合労働相談所

日 時：毎月第1・第3木曜日 13:30～16:30（祝祭日除く）

事前受付：平日 9:00～16:00

申込方法：TEL 096-324-1365 又は FAX 096-324-1208

熊本市中央区細工町4-30-1扇寿ビル5階

無料相談会

名称	所在地	連絡先	期日・時間
熊本市役所 労働相談	熊本市中央区手取本町1-1 熊本市役所1階北側エレベーター近く 高齢者無料職業相談コーナー内	096-328-2377	毎週水曜日 14:00～17:00
山鹿市役所 労働相談	山鹿市山鹿987-3 山鹿市役所2階 ミーティングルーム	0968-41-5643	毎月第2火曜日 13:00～16:00 （祝祭日は除く）
八代市役所 労働相談	八代市松江城町1-25 八代市役所1階市民相談室	0965-33-4452	毎月第3火曜日 10:00～12:00 （祝祭日は除く）
玉名商工会館 年金・労働無料相談	玉名市高瀬290-1 玉名商工会館3階	0968-72-3106	毎月第2水曜日 13:30～15:30
天草市 年金・労働無料相談	天草市浄南町4-15 天草市複合施設こらす	0969-27-7788	（会場の都合で変更あり） 毎月第3木曜日 13:30～15:30

就労支援に関わる制度等

● 雇用保険（基本手当）

雇用保険は、定年、倒産、契約期間の満了などで離職した方が、再就職するための生活資金として支給される手当です。基本手当の所定給付日数は、受給資格に係る離職日における年齢、雇用保険の被保険者であった期間及び離職の理由などによって決定されます。疾病又は負傷のために職業に就くことができない場合には、基本手当の代わりに傷病手当として支給されることもあります。申請窓口はハローワーク（公共職業安定所）です。

雇用保険を受給できない方へ

雇用保険を受給できない求職者の方（ただし世帯収入や世帯資産が一定額を超える者を除く）が、「職業訓練受講給付金」を受給しながら、職業訓練によるスキルアップを通じて早期就職を目指す制度として、求職者支援制度があります
申請窓口はハローワーク（公共職業安定所）です

●フレックスタイム制度

フレックスタイム制度は、一人ひとりの1ヶ月の労働時間を一定にしながら始業及び就業時間は各自の自由裁量に委ねられる制度です。コアタイム（必ず全員が就業しなければならない時間帯）が設定されることが一般的です。コアタイムを満たす働き方で自由に出・退勤ができます。

●産業医・産業保健師等

産業医とは、企業などにおいて健康管理を担う医師で、基本的に治療行為は行わず、健康診断の結果を基にした働き方に関するアドバイスや保健指導、職場巡視による作業環境や作業方法の改善指導、長時間残業者への面接、長期間病気休業していた労働者の職場復帰支援、さらには健康教育など、仕事と健康に関わる様々な職務を担当します。

産業保健師等とは、企業などに勤務する保健師・看護師で、産業医と同様に従業員の健康管理に従事します。産業医と協働で働くこともあれば、産業医がいない職場で独立していることもあります。

治療と仕事の両立を目指すときに、産業医や産業保健師等は、職場の事情を理解し医学知識もある専門家として、頼りになる相談相手になります。また、主治医から産業医への情報提供が保険診療で評価されるようになりました。



8

がんサロン・患者団体等のご紹介

がんサロン・患者団体等

がん患者さんやご家族が心の悩みや体験等を自由に語れる場として、がんサロンや患者会などがあります。

●県内のがんサロン

がんサロンとは、次のような場所です。

- ・患者仲間で安らぐための空間
- ・対話を通して患者・家族の不安や孤独化を緩和する場所
- ・よりよく過ごすきっかけを自分のペースでみつける場所
- ・がん医療に対する情報交換をする場所



【コラム8】「がんサロン」で心癒やされて

ある日、主治医から「がんサロンに参加したことがありますか」と問われました。「サロン？ 人が集まる中で自分の心の内を話したくないなあ」等と思いつつ、1か月ほど経て自宅近くで開催されているがんサロンに行ってみました。

十数人の参加者がおられて、自己紹介、ご自分の病気のこと等について順番に話が進みました。世話人さんが、「あなたは初めてだから最後に。話したくなければ他の人のお話を聞くだけでもよいですよ」と。

私は、その時点で、初めて会う方たちに自分の病気について話をする気持ちにはなれず「今日は聞くだけの参加にしよう」と思っていました。お一人おひとりの様々に人生を生きてこられたお話を聞いているうちに、さて次は私の番です。「聞くだけ」と思っていたはずが、自然に自分の心の内を話していました。途中で涙が出てきました。皆様が静かにうなずき、私の話を受け止めてくださった様子を今でも覚えています。

熊本県では30か所ほどのがんサロンが開催されており、患者・ご家族が自由に参加できる「交流の場」になっています。当時の私のように、「聞くだけの参加」でもよいのでがんサロンに行ってみませんか？

がんの経験者：千草

地域	サロン名	開催日時	場所	会費	連絡先
熊本	くまもと 乳腺がんサロン 風そよぐらウンジ	毎月第1火曜日 14時～15時	くまもと 乳腺外科病院	無料	くまもと乳腺外科病院 096-366-1155
	済生会がんサロン なでしこ	毎月第1水曜日 13時半～15時	済生会熊本病院	無料	済生会熊本病院 がん相談支援センター 096-241-0275
	二の丸がんサロン	毎月第1金曜日 13時～15時	国立病院機構 熊本医療センター 研修センター2階	無料	熊本医療センター がん相談支援センター 096-353-6501
	がんサロン よかここネット	偶数月第1金曜日 14時～15時	熊本地域医療センター 本館2階多目的ルーム	無料	熊本地域医療センター 096-363-3311
	森都がんサロン ほほえみ	毎月第2火曜日 13時～15時	くまもと森都総合病院 5階会議室	無料	くまもと森都総合 病院地域医療連携室 096-364-6021
	くまちゅうがんサロン クローバー	毎月第2金曜日 13時～14時半	熊本中央病院	無料	熊本中央病院 がん相談支援センター 096-370-3111(代)
	熊本がんサロン	毎月第3火曜日 10時～12時	熊本大学病院 東病棟12F 多目的ホール	無料	熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676
	出水南がんサロン	不定期	熊本市中央区	無料	留守電メッセージ に折り返します 096-379-3791
	大江がんサロン みどり	毎月第2土曜日 13時半～15時半	大腸肛門病センター 高野病院	無料	大腸肛門病センター 高野病院 096-320-6500
	働き&子育て世代の ためのがんサロン	毎月第3土曜日 14時～16時	ウエルパルくまもと	無料	熊本市保健所 医療政策課 096-364-3186
	熊本市市民病院 がんサロン もくせい	毎月第4火曜日 14時～16時	熊本市立 熊本市市民病院	無料	熊本市市民病院 がん相談支援センター 096-365-1606
	長嶺がんサロン CROSS (クロス)	毎月第4水曜日 10時～11時	熊本赤十字病院	無料	熊本赤十字病院 がん相談支援センター 096-384-2111
宇城	朝日野がんサロン	毎月第4水曜日 14時半～15時半	朝日野総合病院	無料	朝日野総合病院 096-344-3000
	宇城がんサロン ～ほっとカフェ～	毎月第3金曜日 13時半～15時	熊本南病院 2階会議室	無料	熊本南病院 地域医療連携室 0964-32-0826

地域	サロン名	開催日時	場所	会費	連絡先
有明	いこいカフェ ひまわり	毎月第2水曜日 13時～14時	荒尾市立有明医療 センター	無料	荒尾市立有明医療センター がん相談支援センター 0968-63-1115
	たまきながんサロン こもれび	奇数月第1水曜日 13時半～14時半	くまもと県北病院 たまきなホール	無料	くまもと県北病院 がん相談支援センター 0968-73-5000
	なんかんとっぱ会	1月～11月 第4日曜日 13時半～15時	南関町交流センター ※町外の方は施設利用料	無料 100円	南関町保健センター 0968-53-3298 (月～金)
鹿本	山鹿がんサロン	毎月第2金曜日 14時～15時	山鹿市民医療センター 1階医療研修センター	無料	山鹿市民医療センター 0968-44-2185
菊池	がんサロン再春	毎月第3木曜日 14時～15時半	熊本再春医療センター 管理棟1階	無料	熊本再春医療センター 地域医療連携室 096-242-1000
	こうしがんサロン かすみそう	毎月第2木曜日 13時半～15時	合志第一病院	無料	合志第一病院 地域連携室 096-242-2745(代)
阿蘇	阿蘇がんサロン 笑がお	偶数月 第2水曜日 14時～15時	阿蘇医療センター	無料	阿蘇医療センター 地域連携室 0967-34-0311
上益城	みふねがんカフェ いきいき茶論	毎月第4金曜日 10時～12時	御船町保健センター 2階研修室(他)	無料	いきいき茶論 世話人 園田 090-4347-5177
八代	八代がんサロン 秋桜 cosmos	毎月第2水曜日 13時～15時	熊本労災病院	無料	熊本労災病院 がん相談支援センター 0965-33-4151
	がん患者会・家族会 ひまわり	奇数月 第3水曜日 15時～16時	熊本総合病院14階 展望レストラン	無料	熊本総合病院がん 相談支援センター 0965-32-7111
芦北	がんサロン 「未来へ」	年4回第3金曜日 14時～2時間 程度	水俣市立総合医療センター 西館6階会議室	無料	水俣市立総合医療センター 地域医療支援センター 0966-63-8833
球磨	くま川がんサロン	偶数月 第3水曜日 14時～15時	人吉医療センター 3階研修室1 (変更あり)	無料	人吉医療センター 相談支援センター 0966-22-2191
天草	天草がんサロン たんぼぼの会	毎月第3水曜日 13時半～15時	天草中央総合病院	100円	天草中央総合病院 0969-22-0011
	上天草がんサロン アクアマリン	毎月第3木曜日 13時半～15時半	上天草総合病院	無料	上天草総合病院 0969-62-1122
	がんサロン ふらっと	奇数月第2金曜日 (3月を除く) 14時～15時半	天草地域医療センター	無料	天草地域医療センター 0969-24-4111

※一覧に記載してあるサロンは、がんサロンネットワーク熊本に加入しているサロンです。

※オンライン参加をご希望の方は、各サロンにお問い合わせください。

【コラム9】 熊本県のがんサロン

熊本県のがんサロンの立ち上げは、2008年玉名市在住のがん経験者の男性が、個人宅でのがんサロン開設の協力依頼を当時の熊本大学附属病院がんセンターにしたことから始まり、2010年4月に熊本大学附属病院で第1回目のがんサロンが多くの方の支援のもとで開催されました。2025年現在、県内には30カ所のがんサロンが、病院内、個人宅及び行政機関の会議室で開催され、多くのがん治療中の患者やがん経験者及びその家族が参加をされ、闘病の悩みや、治療中治療後の生活、仕事の相談、何気ない世間話等をするにより心の安らぎを得る場所として利用されています。

がんサロンで今後考えていかなければならないことは後継者の育成です。是非とも多くの方ががんサロンに参加し世話人を引き継いでもらいたいと思っています。

【コラム10】 がんサロンネットワーク熊本について

県内のがんサロンが多く開設され、その活動が多岐にわたるようになり、また、がんサロン相互の連携が増加したこと、サロンの世話人の抱える相談事を解消する等の必要性に鑑み、がんサロンのみでなく医療関係者、行政関係者、がんサロンに参加していないがん患者、家族、支援者などでネットワークを構築して、がんになっても安心して暮らせる社会の実現に寄与するという趣旨で、各関係者の支援のもとで「がんサロンネットワーク熊本」が2012年10月に発足しました。



がんサロンネットワーク熊本 代表理事 野中克彦

【コラム11】 がんピアおしゃべり相談室

同じ病気をしたものの同士の、個別のおしゃべり相談です。心の内側の思いを伝えてください。ピアサポーターがしっかり受け止めます。

ゆっくり話が出来る場所ですので、不安な気持ちを話しにきませんか。お待ちしております。

● 県内の患者会・その他の団体

がんサロン以外にも患者会等の活動の場所があります。

詳しくはがん相談支援センター（P.7～8）や問い合わせ窓口にお問い合わせください。

地域	名称	対象者・病名	主な活動内容	問い合わせ窓口 (窓口の名称・電話番号)
熊本	グリーンケアサロン 縁(まる)カフェ	ご遺族 など	奇数月 大切な人を亡くされた 方の悲嘆のケア	✉:marucafe3@gmail.com 熊本大学病院 がん相談支援センター 096-373-5676
	湖水会 (ウロストミー患者会)	尿路がん 膀胱がん	休止中 要問い合わせ	熊本市民病院 泌尿器科外来 096-365-1711
	陽だまりの集い (たんぼぼの会)	小児がん	年3回（不定期） 自由に立ち寄り語り合 える場の提供	熊本赤十字病院 小児科外来 096-384-2111
	ひまわり会	尿路 ストーマ 保有者	年1回 情報共有や情報提供の 場	国立病院機構熊本医療 センター泌尿器科外来 096-353-6501
	肥後 ほほえみの会	乳がん	月1回（患者のみ） 自由に立ち寄り語り合 える場の提供	くまもと森都総合病院 がん相談支援センター 096-364-6021
	日本オストミー協会 熊本県支部	オストメ イトの方	年11回（県内7地域で 開催）ストーマに関す る体験談及び医療相談	大腸肛門病センター 高野病院患者支援センター 096-206-3330
	リレー・フォー・ラ イフ・ジャパンくま もと	すべての がん	年1回 がん患者支援イベント	リレー・フォー・ライフ・ジャパン くまもと実行委員会 096-206-3330
有明	熊本県天声会	声帯摘出 などで発 声機能を 失った方	コミュニケーションに必要な新 しい声の訓練・情報交換の場 熊本教室（週1回） 八代教室（週1回）	㈱ユーテックス熊本支店内 TEL：096-389-2266 FAX：096-389-0118
	血液疾患患者と家族 「晴れの会」	血液疾患	月1回 茶話会	090-3661-5227

地域	名称	対象者・病名	主な活動内容	問い合わせ窓口 (窓口の名称・電話番号)
鹿本	ピンクコスモスの会 (ブレストチーム)	乳がん	年1回 ミニレクチャー・交流会	山鹿市民医療センター 外科外来 0968-44-2185
	莓の会 (ストーマチーム)	オストメイトの方	年1回ケア自立のための勉強会・交流会・ストーマケア用品紹介	山鹿市民医療センター 外科外来 0968-44-2185
球磨	ひまわり会	乳がん	年5回(不定期) 疾患に特徴的な症状などへの対処方法の研修会や語り合いの場の提供	人吉医療センター 相談支援センター 0966-22-2191

がんサロン・患者
団体等のご紹介

がん経験者によるピアサポート「がんピア(仲間)おしゃべり相談室」

熊本県では、がんを経験された方とお話しができる場として「おしゃべり相談室」を設置しています。戸惑いや不安な気持ちを、ありのままお話しすることで、気持ちの整理ができるかもしれません。

実施場所・日時等（個別面談・無料・予約優先）

実施場所	日 時	住所・電話番号
熊本赤十字病院	第1・3金曜日 11時～12時半	熊本市東区長嶺南2-1-1 096-384-2111
国立病院機構 熊本医療センター	第2火曜日 11時～13時	熊本市中央区二の丸1-5 096-353-6501
済生会熊本病院	第2木曜日 10時～12時	熊本市南区近見5-3-1 096-241-0275
熊本大学病院	第3木曜日 13時～15時	熊本市中央区本荘1-1-1 096-373-5676

*医療に関する総合的な相談等は、がん相談支援センターで受け付けています。また、医療相談ではありませんので、セカンドオピニオンの提供、医師・病院等の紹介は行っていません。

【事業に関するお問い合わせ先】

熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課 ☎096-333-2208

熊本市がんサポートセンター「がん相談ホットライン」

がんに関する様々な不安や疑問に関する相談等にごん経験者がお応えしています。

実施場所・日時等（電話・個別面談・無料・予約不要）

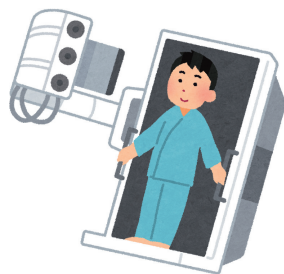
実施場所	日 時	住所・電話番号
ウェルパルクまもと4階 熊本市保健所 医療対策課	毎週月曜日・木曜日 9時半～12時 13時～15時半	熊本市中央区大江5-1-1 096-364-3355

※がんの治療法などに関する医療相談ではありません。

9

がん検診を受けましょう

がんを早期に発見し適切な治療を行うことで、がんによる死亡率を減少させることができます。がんは早期に発見できれば、治療の選択肢も多く予後も良好でQOL（生活の質）も維持しやすいといわれています。がんを早期に発見するために、がん検診に関する正しい知識を持ち、がん検診を受診しましょう。



がん検診を
受けましょう

●市町村がん検診担当一覧

地域名	市町村名	担当課等	電話番号
熊本市	熊本市	健康づくり推進課	096-328-2145
宇城地域	宇土市	健康づくり課（宇土市保健センター）	0964-27-3324
	宇城市	健康づくり推進課（宇城市保健福祉センター）	0964-32-7100
	美里町	健康保険課	0964-46-2113
玉名地域	荒尾市	すこやか未来課	0968-63-1133
	玉名市	保健予防課（玉名市保健センター）	0968-72-4188
	玉東町	保健こども課	0968-85-3135
	和水町	保健子ども課	0968-86-5730
	南関町	健康推進課	0968-53-3298
	長洲町	福祉保健介護課（長洲町保健センター）	0968-78-7171
鹿本地域	山鹿市	健康増進課（山鹿健康福祉センター）	0968-43-0050
菊池地域	菊池市	健康推進課	0968-25-7219
	合志市	健康ほけん課	096-248-1275
	大津町	健康保険課（大津町子育て・健診センター）	096-294-1075
	菊陽町	健康・保険課	096-232-4912
阿蘇地域	阿蘇市	健康増進課（阿蘇市一の宮保健センター）	0967-22-5088
	南小国町	町民課	0967-42-1113
	小国町	福祉課	0967-46-2116

地域名	市町村名	担当課等	電話番号
阿蘇地域	産山村	健康福祉課	0967-25-2212
	高森町	健康推進課	0967-62-2910
	南阿蘇村	健康推進課	0967-67-2704
	西原村	保健衛生課	096-279-4397
上益城地域	御船町	健康づくり保険課（御船町保健センター）	096-282-1602
	嘉島町	町民保険課	096-237-2574
	益城町	健康保険課（益城町保健福祉センター）	096-234-6123
	甲佐町	健康推進課（甲佐町総合保健福祉センター）	096-235-8711
	山都町	健康ほけん課	0967-72-1295
八代地域	八代市	健康推進課（八代市保健センター）	0965-32-7200
	氷川町	町民課（氷川町健康センター）	0965-52-7154
芦北地域	水俣市	いきいき健康課（水俣市保健センター）	0966-63-3202
	芦北町	健康福祉課	0966-82-2511
	津奈木町	ほけん福祉課	0966-78-5555
球磨地域	人吉市	保健センター	0966-24-8010
	錦町	健康増進課（錦町保健センター）	0966-38-2048
	多良木町	住民ほけん課（多良木町保健センター）	0966-42-1100
	湯前町	保健福祉課（湯前町保健センター）	0966-43-4112
	水上村	保健福祉課	0966-44-0313
	相良村	保健福祉課	0966-35-1032
	五木村	保健福祉課	0966-37-2214
	山江村	健康福祉課	0966-24-1700
	球磨村	保健福祉課	0966-32-1112
	あさぎり町	健康推進課	0966-45-7216
天草地域	天草市	健康増進課	0969-24-0620
	上天草市	健康づくり推進課（上天草市保健センター）	0969-28-3356
	苓北町	福祉保健課	0969-35-3330

がん検診は、市町村で実施期間や料金等が異なりますので、担当窓口
にお問い合わせください。

10 旅行時のポイント

旅行は気分転換にもなります。楽しい旅行と
するため、事前に次のことをチェックしておき
ましょう。



旅行全般

- ・旅行について担当医とよく相談し、旅行先での注意事項など確認しておきましょう

旅行先でもし具合が悪くなった場合に相談できる医療機関等についても、相談しておくといでしょう

- ・移動手段などで医療的な配慮が必要な場合は利用する交通機関、また宿泊先で食事やお風呂など配慮が必要な場合は宿泊予定の施設と、事前に相談しておきましょう

旅行会社を利用される場合は、事前に旅行会社に相談しておく、関係先へ連絡してくれるでしょう

- ・旅行の時はお薬手帳や「私のカルテ」(P.37)なども持っていくといでしょう

海外旅行

- ・海外旅行の場合は主治医へ相談し、英語で作成した診療情報提供書や処方内容を作成してもらいましょう
- ・海外へ旅行する方で痛みのコントロールのために医療用麻薬を使用されている場合は、利用する航空会社で取り決めが異なりますので、事前に航空会社へ連絡し相談しておきましょう

11 災害時の窓口や備え

近年自然災害が増えており、避難生活を余儀なくされることもあるかもしれません。日頃から災害時への備えについて考えておきましょう。



一般的な災害への備え	①情報・通信手段を確保する ラジオ・携帯電話・パソコンなど、情報を得られるようにしておきましょう ②お薬手帳・「私のカルテ」(P.37) など非常持ち出し袋のリストに加えておきましょう ③連絡先・避難先を確認しておきましょう ④避難に介助が必要な場合は、民生委員や近所の方に避難の手助けをしてもらえるようにしておきましょう ⑤お薬や療養に必要な物品によっては避難所にはないものや、すぐに手に入らないものもあります 準備することが可能なものは1週間程度の物品を備えておきましょう
がんの治療を受けている方の備え	①病名や受けている治療についての情報を手帳に記載しておきましょう 「私のカルテ」を使用されている方は、内容がきちんと記載されているかを確認しておきましょう 例)「何がん(がんの部位)」で「何期(がんの病期またはステージ)」なのか、これまで受けた治療(薬物療法、放射線療法、手術など)など ②緊急時の対応について医師と相談しておきましょう 例) 治療は少し遅れても大丈夫なのか、症状がある時はどうしたらよいかなど
災害時の対応	①治療が受けられる医療機関の情報を得るようにしましょう 電話はつながないことがあります 県や国立がん研究センターのホームページで確認しましょう ②処方箋や薬がなくても、保険薬局にお薬手帳や薬袋を持参すれば薬を受け取ることができます 携帯電話にお薬の写真や処方箋を保存しておくことも役立ちます ③抗がん剤治療中は、感染への抵抗力が低下しています。がれきやヘド口の除去や家屋の清掃は避けるようにしましょう ④感染を予防するため、マスクの着用、手洗い、体温測定をしましょう ⑤脱水や血栓を予防するため、十分に水分を取りましょう ⑥避難所では医療的な配慮が必要な場合は、避難所の保健師や看護師など医療関係者にがんの治療中であることを伝えましょう

熊本県では、がん相談支援センターの紹介カードを作成しています。
紹介カードの中には、災害が起こったときの備えとして、チェックする項目を記載しています。

※この紹介カードは、P.7～8に記載してある、県内のがん相談支援センターにおいてあります。

がん相談支援センター

～患者様・ご家族を支えます～

治療のこと

病院のこと

生活のこと

相談無料

治療費のこと



©2010
熊本県くまモン

熊本県がん相談機能発展事業

セカンド
オピニオン
のこと

心の
こと

がん
サロンの
こと

仕事のこと

秘密
厳守

□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□

がん相談支援センター

TEL 000-000-0000

〈受付時間〉 平日 0:00～00:00

熊本県の「がん相談支援センター」ホームページ：
<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/Canconsultation/>

熊本県 がん相談支援センター 🔍 で検索

災害が起こったとき

☒ 病気のことや治療状況を医療者に伝えられますか？

☒ 薬が手に入らない時はどうしたらいいか知っていますか？

☒ かかりつけの病院と連絡がつかない時はどこに尋ねればいいのか知っていますか？

災害時、困った時はココだもん！

がん相談支援センターへ

MEMO

【緊急時に連絡する医療機関】

①

病院名		
担当医		
☎	—	—

②

病院名		
担当医		
☎	—	—

MEMO（お薬やアレルギーのことなど）

災害時の
窓□や備え

12 がんの情報を得るために

● がん情報さがしの10カ条

1	情報は“力”。あなたの療養を左右することがあります。活用しましょう。いのち、生活の質、費用などに違いが生じることもあります。
2	あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう。解決したいことは？知りたいことは？悩みは？メモに書き出して。
3	あなたの情報を一番多く持つのは主治医。よく話してみましょう。質問とメモの準備をして。何度かに分けて相談するのもよいでしょう。
4	別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用しましょう。他の治療法が選択肢となったり、今の治療に納得することも。
5	医師以外の医療スタッフにも相談してみましょう。看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師なども貴重な情報源です。
6	がん拠点病院の相談支援センターなど、質問できる窓口を利用しましょう。がん病院、患者団体などに、あなたを助ける相談窓口があります。
7	インターネットを活用しましょう。わからないときは、家族や友人、相談支援センターに頼みましょう。
8	手に入れた情報が本当に正しいかどうか、考えてみましょう。信頼できる情報源か、商品の売り込みでないか、チェックして。
9	健康食品や補完代替医療は、利用する前によく考えましょう。がんへの効果が証明されたものは、ほぼ皆無。有害なものもあり要注意。
10	得られた情報をもとに行動する前に、周囲の意見を聞きましょう。主治医は？家族は？患者仲間？あなたの判断の助けになります。

出典：国立がんセンターがん対策情報センター

がん情報サービス

国立がん研究センターがん対策情報センターが、がんについて信頼できる最新の正しい情報を紹介しています。

国立がん研究センター
がん情報サービス

ganjoho.jp

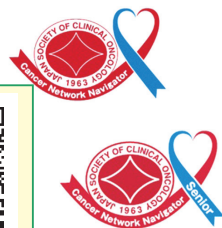


認定がん医療ネットワークナビゲーター

日本癌治療学会が認定するナビゲーター、シニアナビゲーターは患者さん・ご家族がアクセスしやすい場所にいて、がん患者さんやご家族の不安や悩みに耳を傾け、お話を伺います。そのうえで、がん情報を提供したり、がん相談員のいる「がん相談支援センター」などの信頼できる窓口につなぐ重要な役割をはたしています。

熊本県の

認定がん医療ネットワークナビゲーターは
こちら



熊本県がん連携サポートセンター

熊本県がん連携サポートセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院である熊本大学病院に設置されています。熊本県の事業委託を受け、県内のがん相談に関する支援やがんに関する情報提供を行っています。



熊本大学病院内

熊本県がん連携サポートセンター

がん診療に携わる医療機関・従事者等が連携し、がん患者さんやそのご家族等の支えとなるように熊本県全体で活動しています

[医療関係の方](#) [会員ページ](#)



[ホーム](#) | [センターのご紹介](#) | [私のカルテ](#) | [がん相談支援センター](#) | [各種サポート](#) | [情報提供](#) | [スケジュール](#)



私のカルテ

患者さん自身を持つファイル「私のカルテ」についてご紹介



がん相談支援センター

熊本県内の各がん診療連携拠点病院内、がん相談支援センターをご紹介します

熊本県がん連携サポートセンター

電話 096-373-5558

メール gan-support@jim.kumamoto-u.ac.jp



がんの情報を
得るために

・ ・ ・ ・ 熊本県版がん情報冊子 ・ ・ ・ ・

発行日 第 1 版 平成28年 1 月
第 2 版 平成29年 3 月
平成29年 8 月（一部改訂）
第 3 版 平成30年10月
令和元年 9 月（一部改訂）
第 4 版 令和 2 年11月
令和 3 年 9 月（一部改訂）
2022年版 令和 4 年11月
2023年版 令和 5 年11月
2024年版 令和 6 年 7 月
2025年版 令和 7 年 4 月
2026年版 令和 8 年 4 月

編 著 熊本県がん診療連携協議会幹事会
相談支援・情報連携部会
・がん専門相談員ワーキンググループ
・熊本県がん連携サポートセンター

発 行 熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課
（熊本県がん相談機能発展事業）
☎096-333-2208（直通）

問い合わせ先 熊本県がん連携サポートセンター
☎096-373-5558



(2026) 令和8年4月 熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課発行